

平成 2 5 年度 事業報告書

(平成 2 5 年 4 月 1 日～平成 2 6 年 3 月 3 1 日)

平成 2 6 年 5 月 3 1 日 (土)

午後 1 時 3 0 分～4 時

明石市民会館

公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

〒650-8691

兵庫県神戸市中央区相生町 2-2-8 新神戸ビル東館 2 階

FAX : 078-371-0277

TEL : 078-371-5613

メール : info@hyogodeaf.com

【平成25年度総括報告】

「公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会」として2年目を迎え、聴覚障害者当事者団体として運動と事業を担いながら1年間活動を推進してきました。

【全国の運動】

平成25年度は、障害者権利条約の批准と鳥取県の「手話言語条例」が進められました。平成18年(2006年)に「言語に手話を含む」とした障害者権利条約は、各国が批准を承認していく中、日本もようやく25年12月4日、参議院本会議において条約の批准を承認しました。

また、鳥取県では、全国初の手話言語条例が制定されました。鳥取県の条例は「手話」を独自の言語体系を有する文化的所産と定義し、手話の普及や県民の理解促進に努めることと定めており、ろう者が暮らしやすい社会の実現をめざし始めています。

全日本ろうあ連盟は、「手話言語法」推進運動として、国に対する「意見書」採択を都道府県や市町村の議会から上げていく取り組みを展開しています。

【兵庫の運動】

鳥取県の「手話言語条例」制定の動きを受け、兵庫県においても篠山市、尼崎市、西宮市、丹波市、神戸市の議会にて「手話言語条例」についての質問がだされました。その中で篠山市は26年度より「手話言語条例」の検討委員会を設置する予定で今後の取り組みが期待されます。

「手話言語法」意見書採択運動は、豊岡市が平成26年3月27日の豊岡市議会において意見書採択が承認され国に提出しました。

【協会の事業】

当協会の活動や事業に関しては、昨年度は公益社団法人として総会を実施し、新役員体制の元、協会の活動や事業に取り組みました。県ろうあ者大会や県ろうあ者新年大会をはじめ各種行事を実施してきました。

また、兵庫県立聴覚障害者情報センター、たじま聴覚障害者センター、はりまふくろうの家、ひょうご聴覚障害者介護支援センターの運営事業に関しても職員をはじめ関係機関と連携し、聴覚障害者の事業所として運営してきました。

当協会として県内の聴覚障害者が安心して暮らせるために兵庫県をはじめ関係機関にさまざまな要望や提言を行ってきました。

また、西宮ろうあ部会の協力で「地域活動支援センター事業」の準備を進めてきました。4月より「にしのみや聴覚障害者センター」として事業を開始します。

【聴覚障害者の実態と生活ニーズ調査】

阪神淡路大震災から18年が経過し、県内の聴覚障害者の拠点施設・事業所の設置運営に全力をあげてきた。しかし、県内にはまだ拠点施設・事業所がない地域も残されており、日本財団の助成を得て「聴覚障害者の実態調査と生活ニーズ調査」を実施しました。調査結果を今後の運動につなげていきます。

【４０周年そして今後】

平成２５年１月１５日で４０周年を迎えることができました。平成２５年６月１日（土）に神戸で兵庫県ろうあ連盟結成４０周年記念パーティーが開催され、１００名もの参加者が集いました。これまで当協会を支えてくださった、会員の皆さまをはじめ、歴代の役員の方々に心から感謝を申し上げます。今後も兵庫県内の聴覚障害者を代表する団体としてさらに協会の運動と事業を発展させていきたいと思います。

今後もさらなる聴覚障害者に対する理解を広め、社会参加を促進し、聴覚障害者及び手話を学ぶ者をはじめ、兵庫すべての県民に聴覚障害関連を始め、福祉の増進に関する事業を行い、社会福祉の発展に寄与してまいりますので引き続き支援ご協力をお願いいたします。

【公益目的事業】

《公－１ 聴覚障害者の福祉向上のための事業》

(概要)

聴覚障害者の生活支援や文化的活動および手話通訳者等の養成・派遣、一般企業や障害者事業所を利用されることが困難な障害者に就労、生きがいの場の提供、調査研究などを通じて聴覚障害者の福祉向上を図っている。

(１) 手話通訳者等講師養成事業

県及び市町村レベルの手話奉仕員・手話通訳者養成講習会の指導者を養成する。

1. 手話奉仕員養成事業講師講習会

開催期間：入門編 平成 25 年 9 月 6 日（金）～26 年 2 月 21 日（金）全 22 回

兵庫県聴覚障害者情報センター19 回、(公社)兵庫県聴覚障害者協会 3 回

入門/基礎編 平成 25 年 9 月 3 日（火）～26 年 3 月 25 日（火）全 31 回

兵庫県聴覚障害者情報センター28 回、(公社)兵庫県聴覚障害者協会 3 回

開催場所：入門編 神戸市立総合福祉センター

入門/基礎編 姫路市自治福祉会館

受講人数：入門編 20 名（ろう者 10 名、健聴者 10 名） 【修了者 17 名】

入門/基礎編 18 名（ろう者 8 名、健聴者 10 名） 【修了者 17 名】

2. 手話通訳者養成事業講師講習会

開催期間：平成 25 年 7 月 31 日（水）～26 年 3 月 19 日（水）全 32 回

兵庫県聴覚障害者情報センター29 回、(公社)兵庫県聴覚障害者協会 3 回

開催場所：神戸市立総合福祉センター

受講人数：23 名（ろう者 10 名、聴者 13 名） 【修了者 17 名】

3. 講義手話奉仕員・手話通訳者養成事業講師講習会（講義編）

開催期間・内容：第 1、2 回 平成 25 年 9 月 7 日（土）

「ソーシャルワーク概論」「身体障害者福祉概論」

第 3、4 回 平成 25 年 10 月 5 日（土）

「手話通訳の心構え」「手話通訳の仕事と理念Ⅰ」

開催場所：神戸市立総合福祉センター

受講人数：第 1、2 回 17 名（ろう者 7 名、健聴者 10 名）

第 3、4 回 18 名（ろう者 4 名、健聴者 14 名）

(２) 手話学習会

開催場所以外のろうあ者をお招きした講演会をとおして、地方手話などの学習、情報交

換の場として設ける。

1. 手話対策部学習会

開催日：平成 26 年 1 月 15 日（水）18：45～20：20

開催場所：神戸市立総合福祉センター

講師：石橋 大吾氏

（一般財団法人全日本ろうあ連盟 監事、鳥取県ろうあ団体連合会 事務局長）

テーマ「ろう者と手話に誇りを持って～鳥取県手話言語条例成立に向けた取り組み～」

参加人数：102 名（ろう者 48 名、健聴者 54 名）

2. 手話学習会（地域学習会）

開催日：平成 26 年 3 月 16 日（日）18:30～20:30

開催場所：姫路市自治福祉会館

講師：籠谷 忠久氏（神戸）

テーマ「魅力のある”手話”」

参加人数：21 名（ろう者 11 名、聴者 10 名）

（3）講師派遣事業

手話講座を主催している団体（学校、手話サークル等）からの要請に応じて、講師を派遣。

講義・講演内容：

聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度、障害者福祉の基礎、聴覚障害の基礎知識、ボランティア活動と手話サークル、身体障害者福祉概論、ソーシャルワーク概論、手話通訳者の基礎知識と心構え、手話通訳の理念と仕事、手話通訳者の健康管理、手話を学ぶ皆さんへ、防災について、一人ひとり輝く、手話言語条例・手話言語法について 等 派遣内容&回数：

内 容	件 数	人 数
高校	3	10
大学・短大	6	8
専門学校	3	3
奉仕員養成講座	3	4
奉仕員養成講座 講義	16	31
通訳者養成講座	6	22
通訳者養成講座 講義	11	18
試験対策講座	1	1
地域手話通訳者登録試験	5	10
登録手話通訳者研修	5	9
手話学習	11	20
講演・シンポジウム	24	24
合 計	94	160

講 師：当協会理事、認定手話通訳者、当協会登録講師

※平成25年度 講師派遣人数：45名

講師研修会

開催日：平成26年1月15日（土） 14:00～16:00

開催場所：神戸市立婦人会館

内 容：講義 新しい「手話奉仕員養成」のあり方

講師 石橋 大吾氏（手話奉仕員養成テキスト 作業部会）

参加人数：61名（ろう者31名、聴者30名）

（4）手話通訳者認定事業

実施日：平成26年2月22日（土）

会 場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：筆記、読み取り、口頭試問

受験者：11名（神戸3、姫路2、伊丹2、西宮2、川西1、明石1）

合格者：2名

（5）手話通訳者派遣事業

1. 平成25年度認定手話通訳者の派遣状況報告

	派遣実績	
	件数	人数
医 療	1	4
権 利 ・ 義 務	4	5
福 祉	5	12
労 働	183	383
教 育 ・ 育 児	78	147
生 活	55	109
生 涯 教 育	88	218
社 会 活 動	116	275
合 計	530	1,153

2. 認定手話通訳者研修会の実施

第1回研修会

日 時 平成25年5月19日（日）

場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター

出席者 16名

内 容 平成24年度 兵聴協派遣事業報告・反省
平成25年度兵聴協方針・事業計画について

第2回研修会

日 時 平成25年7月28日（日）
場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
出席者 4名
内 容 「模擬通訳演習」～場面に合わせた手話通訳～
講 師 池上 睦氏
公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会
認定手話通訳者・手話通訳士

第3回研修会

日 時 平成25年9月14日（土）
場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
出席者 8名
内 容 「模擬通訳演習」～医療場面～
講 師 池上 睦氏
公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会
認定手話通訳者・手話通訳士

第4回研修会

日 時 平成24年12月22日（日）
場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
出席者 12名
内 容 「手話通訳の皆さんへ」
講 師 小林 泉氏
公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会副理事長
たじま聴覚障害者センター所長

第5回研修会

日 時 平成24年3月8日（土）
場 所 兵庫県立聴覚障害者情報センター
出席者 3名
内 容 「情報保障現場での環境整備」
～手話通訳と要約筆記が両方つく
場面の会場設営についてともに考える～
協力者：迫田理恵氏 仲光恵氏

（6）ろうあ兵庫

2013年度の「ろうあ兵庫」編集活動においては、兵聴協として重点的に取り組んでいる事項についてはトップページに掲載しました。専門部記事については定期的に情報を掲載することができました。今後とも、聴覚障害者福祉の向上のため、ろうあ運動関

係を重点に掲載してまいりたいと思います。

2013 年度	主な内容	ページ 数
4月号	南海トラフ巨大地震にて備えて防災の取り組みを	20
5月号	ろうあ運動の意義を再確認！ 等	24
6月号	実態調査事業の本格的始動！！等	20
7月号	第31回兵庫県ろうあ者大会、神戸で開催！ 等	22
8月号	兵庫から世界へ選手達に大きな声援を！！ いざ！ブルガリアへ！デフリンピック代表 等	22
9月号	兵庫県選手が大活躍！感動をありがとう 等	22
10月号	第9回兵庫県聴覚障害者文化祭を開催！！ 等	22
11月号	鳥取県手話言語条例 成立！！ 等	22
12月号	第8回ふくろう・ふれ愛まつり秋空の下 1200 人を超える来場者で盛会 等	20
1月号	新年挨拶、各協会祝賀広告、兵庫も手話言語条例制定の加速を！ 等	24
2月号	篠山市にて県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどいを開催！ 等	20
3月号	暮らしやすい社会をめざして！！ 等	20

(7) 聴覚障害者の福祉の増進のための調査及び研究に関する事業

手話対策部

今回も兵庫県立聴覚障害者情報センターをとおして、各市町に「手話奉仕員、通訳者養成講座開講状況」のアンケート調査を行いました。集計結果を手話対策部会議や手話通訳制度化委員会で報告し、今後の課題を話し合いました。新テキストが発行されるきっかけに、来年度も引き続き調査をするとともに、より充実したカリキュラムで開講、各地域の講師人数も把握できるよう働きかけていきたい。

労働対策部

ハローワークの手話協力員の設置時間に限定があるため就労に十分な相談が出来ない。又、設置された短い時間に聴覚障害者が集中して来訪して、長時間待たされたり、納得できるまでの相談を受けることが難しいというケースから兵庫県労働局の協力を得て、手話協力員に対してのアンケート職務調査をしました。集計した結果、設置時間が限られている為、職務内容が計画的に進めれないのが現状でした。設置時間を増やすように話し合いし続けていきたい。

福祉対策部

全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会は当事者、家族、支援者のほか、参加者一人ひとりが輝く交流集会となっています。そして重複・高齢聴覚障害者福祉を専門的に研究する唯一の集会として、全国の施設・地域の福祉実践を持ち寄り研究・交流する本集会の重要性はますます大きくなっています。そのために、兵庫県内の聴覚障害者支援事業所の日々の実践を入門講座や分科会で積極的にレポートにして発表し、その実践交流を通して、重複・高齢聴覚障害者の発達と権利保障の前進に努めるとともに、参加者が集会で得たものをそれぞれの支援現場で、元気に実践や活動に取り組めるように支援をしていきます。

(8) ろうあ相談員等研修事業

1. ろうあ者相談員等研修（接克問題対策）

生活問題対策部会①

日 時：平成25年5月18日（土）午後1時半～4時

場 所：兵庫県聴覚障害者情報センター 交流サロン室

出席者：16名

報告内容：①福祉対策部より連絡、各地域からの情報交換、研修・学習会について

②相談員等の役割及び連絡方法、相談支援に関する取組

生活問題対策部会②

日 時：平成25年8月24日（土）午後1時半～4時

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 研修会議室

出席者：14名

報告内容：①各地域の情報交換、福祉対策部より連絡

②相談員研修（指導：兵庫県立聴覚障害者情報センター 甲斐氏）

③その他

生活問題対策部会③

日 時：平成25年11月16日（土）午後1時半～4時

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 交流サロン室

出席者：8名

報告内容：①各地域からの情報交換、福祉対策部より連絡

②県内各地の身障者相談員の取組状況

生活問題対策部会④

日 時：平成26年2月22日（土）午後1時半～4時

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 研修会議室

出席者：10名

報告内容：①各地域からの情報交換、福祉対策部より連絡

②各相談員からのケースについての問題点・対応方法などの悩み事

③平成26年度の行事調整及び相談員の研修内容について

2. 聴覚障害者関連施設部会

県内の聴覚障害者関連施設、事業所関係者が集い、情報交換及び意見交換を行うと共に、障害者自立支援法をはじめ各種事業を展開するための情報収集、討議等を行う。

聴覚障害者関連施設部会職員研修①

日 時 平成25年7月21日(日) 午後1時30分～午後4時

場 所 アイティ7階 豊岡市民プラザ市民活動室D

参 加 30名

報告内容：「発達障害の理解と支援」～自閉症を中心に～

講師：ひょうご発達障害者支援センター クローバー豊岡ブランチ
相談支援員 武田 さゆり 氏

聴覚障害者関連施設部会職員研修②

日 時 平成26年2月1日(土) 11時00分～12時30分

場 所 NPO法人広島聴覚障害者福祉協会

広島ろう重複障害者アイラブ作業所

〒730-0823広島県広島市中区吉島西一丁目7番2号

参 加 11名(聴覚障害者就労支援)

報告内容：①広島ろう重複障害者アイラブ作業所見学

②講義：「事業所を立ち上げた経過」

～放課後ディサービス設立までの取り組み～

講師：NPO法人広島聴覚障害者福祉協会

広島ろう重複障害者アイラブ作業所

所長 沖 本 浩 美 氏

(9) たじま聴覚障害者センター

1. 就労継続支援B型事業

障害者総合支援法のうち就労継続支援B型事業を利用して但馬地域に在住する聴覚障害者のうち、主に高齢者と重複障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と下請作業、施設外就労等の就労の場を提供し、その利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を実施している。

【委託元等】国・兵庫県・豊岡市他

【財源】訓練等給付費・請負収入・販売収入・補助金・寄付金

【日時・回数】月曜日～金曜日 9時～17時

【場所】豊岡市京町12-73 【参加人数】定員20名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
支給量 (日)	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
開所日数	21	21	22	22	21	19	23	20	20	20	20	20
利用人数 (延べ)	332	311	333	323	292	261	312	276	300	298	312	332
利用率 (%)	75.5	67.6	75.7	70.2	63.5	59.3	67.8	62.7	65.2	64.8	78.0	72.2

【作業内容】請負作業 …ポリちぎり（歯磨きチューブ・醤油さし）作業・自動車部品のゴムバリちぎり、モチーフ色付け
自主作業 …アルミ缶回収・自主製品製作、販売（ふくろう人形他）
施設外就労…豊岡市福祉事務所内清掃業務

2. コミュニケーション事業

但馬地域における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、手話通訳者等養成および派遣事業を受託して実施する。

（1）香美町手話奉仕員養成事業（入門課程）

【委託元】香美町

【日時・件数】8月9日（金）～10月11日（金）・全10回

【場所】香美町中央公民館

【参加人数】21名

（2）豊岡市手話奉仕員養成事業（入門課程）

【委託元】豊岡市

【日時・件数】9月7日（土）～11月23日（土）・全23回

【場所】豊岡健康福祉センター

【参加人数】21名

（3）豊岡市手話奉仕員養成事業（基礎課程）

【委託元】豊岡市

【日時・件数】11月30日（土）～3月29日（土）・全30回

【場所】豊岡健康福祉センター

【参加人数】14名

(4) 豊岡市要約筆記者派遣事業

【委託元】 豊岡市

【派遣件数】 23件

3. 相談支援事業

豊岡市内在住の障害者及び障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、利用者等の立場に立った適切な指定計画相談支援を行う。

【委託元等】 豊岡市他

【契約件数】 27件

【相談件数】 38件（計画相談、基本相談、他事業所と調整等）

(10) はりまふくろうの家（就労継続支援B型事業）

障害者自立支援法のうち就労継続支援B型事業を利用して、姫路市近郊に在住する聴覚障害者のうち、引きこもりや、就職が困難な人たちに自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように通所による就労の機会を提供し、下請作業や生活に関する情報や学習会等の活動を通じて、その知識及び能力の向上のための訓練等を行うとともに、一般就労等へ移行に向けて支援を実施する。

【日時】 月曜日～金曜日 8:30～16:00

【場所】 姫路市東延末2-51中川ビル1F 事業所内・外

【定員】 18名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
支給量 (日)	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23
開所日数	21	21	21	23	19	18	23	20	20	19	19	21
利用人数 (延べ)	228	206	172	186	155	132	183	166	170	166	165	187
利用率 (%)	60.3	54.5	45.5	44.9	45.3	40.7	44.2	46.1	41.1	48.5	48.2	49.5

【作業内容】

- ・請負作業は、箸入れ・バリ取り（昨年暮れから）・ひめかりまんじゅうが定期的にあり、季節請負としては素麺の箱折り（一昨年から）の受注がある。
- ・自主作業は、おにぎり・お弁当で、月曜日と金曜日はA型事業所の利用者さん向けにお弁当の定期配達、木曜日は市役所ロビーで姫路作業所連絡会の加盟事業所としてハート

フルショップで販売しており 70 食程がほぼ完売している。また、姫路作業所連絡会主催の行事ではバラ寿司などを出店販売している。地域の子供会の行事では、おにぎり注文が恒例となっている。

【工賃アップの取り組み】

おにぎり・お弁当事業は昨年度同様に努力をした。26 年度は材料費等高騰の為、価格アップをする。請負事業はバリ取りを開拓したので、維持していきたい。

【その他】

- ・保健衛生面の充実を図りたい。
- ・来期は新規に正職員が一名増えるので、利用者さんの支援や事業内容を充実していきたい。

(1 1) 兵庫県における聴覚障害者の実態と生活ニーズ調査

日本財団の助成を得て、兵庫県内の聴覚障害者・児の生活実態とニーズ調査を行った。

(1) 時期 2013 年4 月～2014 年3 月

(2) 実施場所 兵庫県内 8 ブロックで行った。

(3) 調査実績 聴覚障害者888名、聴覚障害児対象県内の聴覚障害児・者1,000 人目標のところ1,115名（聴覚障害者888名・聴覚障害児227名）集まりました。

(4) 内容 調査の柱

- ・暮らしの属性・困りごと（平時・災害時、虐待、排除、差別）
- ・相談相手・福祉資源の利用状況・近隣との付き合い・地域活動参加状況

(5) 委員会等実績

本委員会（5/11, 3/21）

作業委員会（4/23, 4/30, 5/11, 6/11, 7/30, 9/8, 10/18, 10/19, 10/22, 11/2, 11/5, 11/11, 11/18, 11/19, 11/26, 12/9, 1/14, 2/3, 2/19, 3/13）

全体学習会（5/11, 9/8, 12/21, 3/21）

尚、調査報告書（書記日本語版・A4 版 130 ページ予定）及び DVD（手話映像・字幕挿入・30 分～40 分を作成配布予定である。

(1 2) 地域で学ぶ聴覚障害児のための手話支援ネットワークの構築

(1) 兵庫県下の公立小学校手話指導（場所：神戸市立湊川多聞小学校）

- ・聴覚障害児への手話指導（2013 年 5 月～2014 年 3 月）約 15 名対象に 46 時間実施
- ・通常学級児童への手話指導（2013 年 5 月～2014 年 3 月）小学 2 年 25 クラス 72 時間実施／小学 3 年 35 名クラス 62 時間実施。
- ・教員への手話指導（2013 年 8 月 23 日～25 日）3 日間実施。約 15 名の教員受講。

(2) 地域放課後活動「寺子屋」

2013 年 4 月～2014 年 3 月まで実施（会場：県立聴覚障害者情報センター）

(計 23 回、参加・見学児童数 延 77 人、約 3 名のスタッフ)

(3) 聴覚障害児とパパ&ママ交流会

2013 年 8 月 10 日 関係団体と共に実施／60 家族の参加／約 20 名のスタッフで対応
会場 県立聴覚障害者情報センター

内容 午前中は講師（日本で最初に幼少時人工内耳装用をされた高間淳司氏）の講演。待機中の子どもたちはペイティング、午後は 4 つのブースを設け、工作や体感ゲームを楽しんだ。

《公－２ 兵庫県立聴覚障害者情報センター運営事業》

兵庫県立聴覚障害者情報センターの運営

- (ア) 設置
兵庫県・神戸市
- (イ) 運営（指定管理者）
公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会
- (ウ) 設置場所
神戸市灘区岸地通１－１－１ 神戸市立灘区民ホール２Ｆ
- (エ) 開館日及び時間 月、火、水、金、土 午前９時～午後６時

(１) 手話通訳者養成事業

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を持って、兵庫県認定手話通訳者を目指す人を対象に、養成講座を実施しました。

内容	実施期間	回数	受講人数(内修了者)	開催地
基本課程	6月21日(金)～11月15日(金)	20	13名(9名)	豊岡市
応用課程	7月10日(水)～12月18日(水)	20	10名(9名)	福崎町
実践課程	7月22日(月)～10月28日(月)	12	8名(8名)	相生市

(２) 要約筆記者養成事業

要約筆記者の養成及び指導者養成を実施しました。

事業名	実施期間	回数	受講者(内修了者)	会場
要約筆記者	奉仕員から要約筆記者への移行のための補習研修(1回目) 7/21、8/17、8/18、9/8、9/29、10/6、10/20	7	受講76名 (58名)	情報センター
	奉仕員から要約筆記者への移行のための補習研修(2回目) 11/5、11/26、11/27、12/17、1/14、1/21、1/28	7	受講46名 (35名)	情報センター
	パソコン要約筆記者養成講座(後期) 5/11～11/26	17	受講10名 (7名)	情報センター
※要約筆記者養成カリキュラム関係	全国指導者養成研修 7/19～21/8/30～9/1/9/27～29	9日間	3人	大阪市 京都市

(３) 盲ろう者向け通訳・介助員養成事業

内 容	実施期間	回数	受講者(内修了者)	会 場
養成講座	5 月 18 日 (土) ～7 月 20 日 (土)	20	51 名 (46 名)	神戸市

(3) 盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業(講師講習会)

日 時	研修内容	人 数	場 所
4 月 20 日 (土) 13 : 30～16 : 00	・「盲ろう者概論」模擬講義 ・模擬講義の内容を基に意見交換	19 名	神戸市立総合福祉センター
4 月 27 日 (土) 13 : 00～16 : 00	・「ロービジョン」模擬講義 ・模擬通訳の内容を基に意見交換 ・別講師による「ロービジョン」模擬講義	13 名	兵庫県立聴覚障害者情報センター

(3) 盲ろう者向け通訳・介助員養成事業（現任研修）

日 時	研修内容	受講人数	場 所
4 月 21 日 (土) 13 : 30～16 : 00	・「通訳・介助員の心構えについて」 ・講演「通訳・介助員の仕事と健康」 講師 大阪社会医学研究所 所長 中村賢治氏 ・事務連絡「要綱改正について」	90 名	情報センター
6 月 23 日 (日) 10 : 00～15 : 30	・基礎グループ (ガイドヘルプ実習) ・応用グループ(通訳実習) 講師 兵庫盲ろう者友の会	24 名	洲本市健康福祉会館
9 月 7 日 (土) 10 : 30～15 : 30	・ガイド法の基本 ・外出訓練 講師 兵庫盲ろう者友の会	20 名	豊岡市民プラザ
10 月 26 日 (土)		65 名	加古川市

13：00～15：30	・ガイドヘルプ 講師 兵庫盲ろう者友の会		総合福祉会館
12月 14日(土) 10：30～15：00	・講義「バイステック7原則」 ・事例検討 講師 兵庫盲ろう者友の会	76名	情報センター
2月 15日(土) 13：00～16：00	・講演 「盲ろう者を取り巻く福祉の動向」 「盲ろう者友の会について」 「盲ろう者が集まる作業所」 講師 兵庫盲ろう者友の会	75名	情報センター

(4) 字幕入りビデオライブラリー貸し出し事業

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
人 数	4	8	13	3	3	2	5	11	7	2	6	4	68
本 数	11	17	27	5	6	6	12	36	18	4	14	12	168

字幕入りビデオテープ及び自主制作ビデオの貸し出しを行った。
利用区分の開始に伴い、映像作品を分類別配置に整理をした。

(5) ろうあ者難聴者相談事業（ろうあ者ホットライン）

ろうあ者悩みの相談室・・・ろうあ者相談員 甲斐 （月・水 10－18時）

移動相談・・・相談員 甲斐 （年9回 水曜：3地域に各3回ずつ）

【ろうあ者ホットライン】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ろうあ相談	16	18	17	22	8	24	35	19	10	6	7	19	201
移動相談	-	-	たつの	篠山	加古川	たつの	篠山	加古川	-	たつの	篠山	加古川	-
			1	2	1	4	1	5		6	2	2	23
合 計	15	18	17	24	9	28	36	24	10	12	9	21	224

【相談内容】

○センター 年金

遺産相続

住宅ローン

生活問題（生活保護など）

家族問題（宗教、親の借金など）

就労問題（就職探し、職場でのコミュニケーション）

生活スキル、子育てのスキル（社会生活能力）の問題

コンサルテーション／連携・情報交換

○移動相談 高齢に伴う難聴の問題（コミュニケーション、医療など）

補聴器購入

認知機能の問題

生活問題（生活スキルの低下）

コンサルテーション

【評価・課題】

○継続支援ケース増加。

○地域で解決すべきケースがセンターに廻ってくる。啓発事業の強化が不可欠。

○生活の場における面接などのアウトリーチ（訪問相談など）に力を入れる必要性がある。

○年間3回同じ市町を回る形式で実施→継続支援ケースが続々。聴覚障害についての知識がないところでの介護保険認定調査に立ち会うことでサービス計画会議参画ができたケースや、丁寧な関わりをもつことで、家族が聴覚障害の特性に気づき、ご本人をろう重複障害者作業所へつなぐことができた就労支援ケースなど。

（6）聴覚障害者向けIT機器活用研修事業

1. パソコン相談の実施

聴覚障害者及び盲ろう者向けにパソコン相談を開催した。

1) パソコン相談（平日）

相談場所	兵庫県立聴覚障害者情報センター
相談日時	適宜
相談受付者	職員
相談件数計	24件

2) パソコン相談（土曜）

相談場所	兵庫県立聴覚障害者情報センター
相談日時	隔月1回 第3土曜日（14:00～17:00 予約制）を基本 5月18日、7月20日、9月16日、11月16日、1月18日、3月15日
相談受付者	聴覚障害者相談員を設置
相談件数計	27件

3) 但馬地域パソコン相談

相談場所	たじま聴覚障害者センター
相談日時	隔月1回 第2土曜日、第4土曜日のいずれか(13:00～17:00 予約制)
相談受付者	聴覚障害者担当相談員
相談件数計	9件

4) イベント型パソコン・スマートフォン相談会 (聴覚障害者文化祭同時開催)

協力企業：NTTドコモ、ソフトバンク社

相談場所	兵庫県立聴覚障害者情報センター
相談日時	9月16日(月・祝) 13:00～16:00
相談受付者	聴覚障害者相談員を設置(スマートフォン相談同時受付)
相談件数計	23件

5) 相談員向けパソコン研修会(企業共催型 (株)エクストラ社)

開催場所 神戸市立総合福祉センター 第6研修室

開催日時 5月15日(水) 10:00～12:00

ブレイルセンスU2の概要説明と操作体験を行った。

対象者は盲ろう者向けPC相談員、盲ろう者向け通訳・介助員 10名

6) 盲ろう者向け機器体験会(企業共催型 (株)エクストラ社)

開催場所 神戸市立総合福祉センター 第6研修室

開催日時 5月15日(水) 13:00～15:00

コミュニケーション研修会開催時間内にて、操作体験を希望する盲ろう者を対象に、ブレイルセンスU2の操作体験及び簡易説明を行った。

2. 聴覚障害者向けパソコン講習会の実施

聴覚障害者向けにパソコン講習会を実施した。

●春季講座

テーマ：「のんびり パソコン倶楽部」

日時：4月1日、8日、15日、22日、5月13日、20日、27日(月) 13:30～15:30
(計14時間)

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：5名

テーマ：「ステップアップ！ワード講座」

日時：6月10日、17日、24日、7月1日、8日(月) 13:15～16:00(計13時間45分)

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：4名

●夏期講座

テーマ：「写真の加工とオリジナルカード作り」

日 時：7月17日、24日、31日（水）13:30～16:30

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：3名

●冬季講座

テーマ：「デジカメの写真を使って年賀状を作ろう」

日 時：12月7日、14日（月）10:00～12:30（計 5 時間）

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：3名（ろう者2名、難聴者1名）

●盲ろう者向けPC講座

テーマ：「機器操作学習会」

日 時：8月3日（土）11:00～17:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：3名（ろう者2名、難聴者1名）

3. 聴覚障害者向けIT学校の開催

●テーマ：第3講座「パソコンを安全・快適に使うために」

日 時：5月18日（土）10:00～12:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

参加人数：6名

●テーマ：第4講座「パソコンを安全・快適に使うために Part 2」

日 時：2013年7月20日（土）10:30～12:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター情報機器利用室

参加人数：4名

●テーマ：第5講座「今さら聞けないこんなこと・・・を全部聞いてみよう」

日 時：2013年9月21日（土）10:00～12:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター情報機器利用室

参加人数：3名

●テーマ：第6講座「初心者メール活用講座」

日 時：2013年11月16日（土）10:00～12:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター情報機器利用室

参加人数：4名

●テーマ：第7講座「パソコン・タブレット・スマホでできることは何？」

日 時：2014年1月18日（土）10:00～12:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター情報機器利用室

参加人数：6名

●テーマ：第8講座「WindowsXPのサポート終了、どうしたらいい？」

日 時：2014年3月15日（土）10:00～12:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター情報機器利用室

参加人数：8名

4. 聴覚障害者向け携帯活用講座の開催

●テーマ：「スマートフォン・タブレットを楽しく使おう」

（企業共催型）KDDI株式会社

日 時：5月11日（土）13:30～16:30

開催場所：神戸市立総合福祉センター 婦人会館「もくれん」

参加人数：22名

●テーマ：「スマートフォンを使いこなそう」

（企業共催型）NTTドコモ、ドコモ・サポート株式会社

日 時：2013年9月15日（日）13:00～15:30

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

参加人数：14名

●テーマ：「スマートフォンを楽しもう！淡路会場編

（企業共催型）ソフトバンク社

開催協力：淡路聴覚障害者センター

日 時：2013年10月5日（土）13:30～15:30

開催場所：洲本市総合福祉会館 多目的ホール

参加人数：46名

5. DVD活用学習会

●手話学習者向け 読取り学習会の開催

テーマ：「広げよう！楽しい会話」DVD読取り学習会

内 容：DVDを活用した読取り学習会。「言う」という言葉を学習した。

日 時：2013年6月18日（火）13:30～16:00

開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

参加人数：28名

（7）聴覚障害者向けビデオの自主制作

1. 聴覚障害者向けビデオの自主制作

聴覚障害者向けに手話や字幕を挿入したビデオを自主制作し、ビデオライブラリーでの貸し出しや関係

機関、団体への配布等を行った。

（全14タイトル）

No.	ビデオタイトル	時間 (分)	本数
1	情報センタービデオライブラリー 「情報センターってどんなところ？」	30分	10本

2	情報センタービデオライブラリー 「情報センターってどんなところ？」（視覚障害者用音訳つき）	20分	3本
3	聴覚障害者向け情報発信ビデオ センターニュースNo.1	30分	10本
4	公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会 紹介ビデオ2 「はりまふくろうの家」	30分	5本
5	公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会 紹介ビデオ4 「ひょうご聴覚障害者介護支援センター」	30分	5本
6	情報センタービデオライブラリー 第31回兵庫県ろうあ者大会 ～兵庫県ろうあ連盟結成40周年記念～	120分	10本
7	聴覚障害者向け情報発信ビデオ センターニュースNo.2	30分	10本
8	情報センタービデオライブラリー 平成25年度「聞こえ」を学ぶセミナー	120分	5本
9	聴覚障害者向け情報発信ビデオ センターニュースNo.3	30分	10本
10	情報センタービデオライブラリー 2013 ソフィアデフリンピック代表選手 報告会	120分	5本
11	平成25年度第25回兵聴協手話通訳認定試験 読取試験問題	5分	2本
12	情報センタービデオライブラリー 第40回 兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい	120分	10本
13	情報センタービデオライブラリー 2013年手話対策部学習会「ろう者と手話に誇りを持って」 ～鳥取県手話言語条例成立に向けた取り組み～	120分	5本
14	日本財団助成事業 「阪神・淡路大震災から18年をむかえた兵庫県における 聴覚障害者の実態と生活ニーズ調査」報告DVD	50分	5本

2. CS障害者放送「目で聴くテレビ」等への番組提供

兵庫からの情報番組として、CS放送「目で聴くテレビ」へ映像提供を行った。

提供1	「神戸の手話 山側編」	5分
	「神戸の手話 海側編」	5分

3. 聴覚障害者向けビデオ映像のインターネット動画配信

従来のビデオライブラリー貸出しに加え、映像用のホームページ及びブログを活用し、インターネット上で動画配信を行った。

(全 12 本)

配信 1	情報センターってどんなところ？	8 分
配信 2	情報センターニュース 25-1	9 分
配信 3	情報センターニュース 25-2	16 分
配信 4	情報センターニュース 25-3	11 分
配信 5	施設紹介ビデオ「はりまふくろうの家」	1 分
配信 6	施設紹介ビデオ「ひょうご聴覚障害者介護支援センター」	7 分
配信 7	インターネットを活用した情報配信について	10 分
配信 8	「緊急速報メール」って何？	5 分
配信 9	「避難情報」について	5 分
配信 10	兵庫からの手話語り 21 本×2 分～3 分	63 分
配信 11	アジア友好基金ご協力のお願い（制作協力映像）	10 分
配信 12	地方の手話 ～神戸～	10 分

(8) 聴覚障害者及び聴覚障害に関する理解促進事業

1. 「聞こえ」を学ぶセミナー（8 月 3 日（土）） 参加者：92 名

(来場者 31 名、関係者 61 名)

中途失聴・難聴者支援事業推進委員会が実行委員会を立ち上げて実施。

地域性を考え、健聴者と聴覚障害者のご夫婦に視点を置き、普段の生活を共にする環

境に置いて聞こえる者と聞こえない、聞こえにくい者との摩擦や思いなどを、それぞれの立場でお話し頂いた。

難聴だと分かった上で結婚する２人と、その関係を受け入れる親との関係や、成長途中で難聴が発覚したためにコミュニケーション環境が変化した家庭、また、難聴の親の元に生まれた子供の思いなど、言葉では計り知れないそれぞれの気持ちを聞くことができた。

会場：三木市立市民活動センター ３階大ホール 他

内容：午前「講演」聴覚障害者と健聴者夫婦による講演（宇佐川氏、増田氏）

午後「全体交流会」講演者を囲み、参加者にマイクを回しながら意見交換

2. 「聴覚障害」の理解セミナー

相談員４名が講師を務め、手話通訳者１名と共に講義・進行を行う福祉関係者として、地域の障害者へ支援されている方を対象に実施講義、機器や筆談体験、ロールプレイ等を行った。

利用者に聴覚障害者がおられて対応に苦慮されている相談も相次いだ。

9 / 2 5（水）	13:30～16:00	たつの市福祉会館 4階大会議室	受講者 10名
10 / 2 3（水）	13:30～16:00	篠山市民センター研修室 1	受講者 12名
11 / 2 7（水）	13:30～16:00	加古川市総合福祉会館 101号室	受講者 10名

4. 「聴覚障害者文化祭」の開催

日 時：9月16日（土）10:00～15:00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター、マリーホール

参加者：延べ670名

内 容：作品展示、バザー、ステージ発表、機器展など

4. 朝来市における難聴者等の集い

日 時：11月9日（土）13:00～15:30

場 所：あさご・ささゆりホール

参加者：21名

内 容：「聴覚障害者の福祉施策について」「補聴器を上手に使いこなす方法を学ぶ」「聞こえを補う機器」「難聴者の体験発表」「聞こえにくさと聞こえない人への対応について」等

5. 相生市・赤穂市・上郡町における難聴者等の集い

日 時：3月2日（土）13:00～16:00

場 所：赤穂市民会館

参加者：48名

内 容：「聴覚障害者の福祉施策について」「補聴器を上手に使いこなす方法を学ぶ」「聞こえを補う機器」「難聴者の体験発表」「聞こえにくさと聞こえない人への対応について」等

6. 「手話サロン」の開催

日時 平成 25 年 4 月 3 日 (水) 13:00~16:00 35 名

「ふれあいサロン」の開催（「手話サロン」から「ふれあいサロン」へ名称変更）

聴覚障害者と健聴者が自由に交流できる場として情報サロンで実施した。

1 回目：日時 平成 25 年 6 月 5 日（水）13：00～16：00 65 名

2 回目：日時 平成 25 年 11 月 2 日（土）10：30～16：00 120 名（情報センター市
共催）

3 回目：日時 平成 25 年 12 月 4 日（水）13：00～16：00 60 名

4回目：日時 平成26年2月5日（水）13：00～16：00 47名

7. センター企画

【ろう企画】

(1) 手話で「日本語」を学ぼう

聴覚障害者は耳から日本語が入らないために日本語が苦手、分からないという悩みを抱えがち。

聴覚障害者は、こうした日本語の基礎を視覚的に学ぶ場が必要であり、開講。

教員免許（国語）を所持された聴覚障害者、健聴者どちらかが1名、講師を担う。情報保障なし。

9/ 8 (日) 13:30~15:30 情報センター 参加 3名

9/28 (土) 13:30~15:30 情報センター 参加 1名

9/29 (日) 13:30~15:30 情報センター 参加 1名

10/ 5 (土) 13:30~15:30 情報センター 参加 2名

10/26 (土) 13:30~15:30 情報センター 参加 2名

(9) 要約筆記者派遣事業

【通訳センター（県公費）】

事業名	実施月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		6ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
要約筆記者		9	27	14	44	10	35	12	41	4	12	8	26	57	185	
事業名	実施月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		12ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
要約筆記者		9	27	10	30	8	25	9	26	6	19	11	35	110	347	

(10) 盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業

[illegible]

盲ろう通訳介助	141	167	158	199	163	212	140	174	156	189	161	197	919	1138
事業名	10月		11月		12月		1月		2月		3月		12ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
盲ろう通訳介助	158	198	128	158	125	152	106	136	123	146	120	151	1679	2079

(11) 中途失聴・難聴者コミュニケーション訓練事業

従来から協力戴いている兵庫県難聴者福祉事業協会に加え、たじま聴覚障害者センター、淡路聴覚障害者センターと共に運営。県内を県民局単位に区分し、市の独自開催も調べたうえで最低1箇所は何かしらの事業が開講されるように取り計らった。

中途失聴難聴者コミュニケーション事業

地域別	開催地	内容	回数	講師	日時	場所	参加者数
神戸	神戸市	読話	3	ST 岡 恵子氏	6/8、15、22(土)	情報センター	17名 (延べ40名)
		手話	3	加藤 めぐみ氏	6/29、 7/6、13(土)	情報センター	17名 (延べ44名)
阪神	伊丹	手話	4	北村 明子氏	2/1、8、1、22(土)	愛アイセンター	14名 (延べ41名)
東播磨							
北播磨	三木	読話	5	ST 上田 月美氏	9/11(水)、 10/22(火)、29(火)、 11/13(水)、21(木)	三木市民 活動センター	11名 (延べ48名)
	小野	読話				中止	
中播磨	姫路					中止	
西播磨							
但馬	豊岡市	手話	1	北村 明子氏	7/6(土)	アイティ市民プラザ	10名
		コミ	1	医師、センター職員	3/15(土)	アイティ市民プラザ	10名
淡路	南あわじ	読話	1	ST 斉藤 奈奈氏	H26.1/19(日)	三原公民館	17名
	洲本	読話	1	ST 斉藤 奈奈氏	8/18(日)	洲本市総合福祉会館	15名

(12) ろうあ者社会生活教室開催事業

日 時	内 容	参加人数	会 場
7 月 7 日(日) 13：30～15：30	兵庫県ろうあ者労働・福祉フォーラム 講演「たのしく、はたらくには」 講師：兵庫県聴覚障害者情報センター相談員 臨床心理士／精神保健福祉士） 甲斐 更紗氏	29 名	神戸市立総合福祉センター
8 月 3 日(土) 14：00～16：30	第17 回ろう教育学習会 講演「聴覚障害教育の現状と展望・課題」 講師（元兵庫県立こばと豊学校長／兵庫県立特別支援教育センター相談員） 田邊ひろみ 先生	75 名	神戸市立総合福祉センター
8 月 31 日(土) 14：00～16：00	手話フォーラム 講演「手話は楽しい」ワークショップ 講師：奈良県ろう者劇団大仏も笑う会 団長 街 好平氏	39 名	姫路市自治福祉会館
9 月 22 日（日） 13：30～15：00	こうれいしゃ講演会 講演「高齢者と歯の関わり」 講師：歯科医師 村上 旬平氏	50 名	神戸市立総合福祉センター
12 月 8 日(日) 13：00～16：00	女性セミナー 講座「防災のためのロープワークを学ぼう」 講師：兵庫県防災士会より 6 名	40 名	神戸市立総合福祉センター
2 月 1 日(土) 13：30～16：30	スポーツ部・青年部合同講座 デフサッカー日本女子代表ドキュメンタリー映画『アイ・コンタクト』上映会&トークセッション 講師：デフリンピック女子サッカー日本代表 井部 絵里子氏	24 名	西宮市総合福祉センター

（１３）盲ろう者生活訓練事業

盲ろう者が日常生活を送る上で必要なコミュニケーション手段（触手話・指点字・点字・手書き等）を

身につけるためのコミュニケーションリハビリテーションの実施や必要な訓練を行った。

１．コミュニケーション研修会

１）集団訓練

日程：４～９月 毎週水曜日 13 時～15 時 全 24 日

10～３月 第 1・2 水曜日 13 時～15 時 全 12 日 計 36 日

場所：神戸市立総合福祉センター、あすてっぷ KOBE

参加：盲ろう者 延べ 372 名 支援者 延べ 485 名

内容：点字(触読・ブリスト)手話・触手話・指文字・指点字などの習得訓練、盲ろう者

向けパソコン
操作の訓練

2) 個別訓練

(訓練対象者 A)

日程：6月7日 全1日2時間

場所：盲ろう者自宅

参加：盲ろう者 延べ1名 支援者 延べ2名

内容：盲ろう者向けパソコン操作の訓練

(訓練対象者 B)

日程：6月27日 9月9日 10月28日 11月11日 12月9日 1月27日 2月10日
全7日14時間

場所：神戸市立総合福祉センター

参加：盲ろう者 延べ7名 支援者 延べ14名

内容：指点字・手話

(14) ひょうご通訳センター事業(手話通訳・要約筆記)

【手話通訳】

1. 登録状況(手話通訳) 2014.3.31 現在

	A登録	B登録	C登録	合計
合 計	45	110	139	294

2. 研修会開催実績

研修会名	期 日	場 所	受講者数	研修内容
初任者研修	5月19日	情報センター	7名	平成24年度手話通訳者全国統一試験 の合格者を対象とする初任者研修・情報 センターの概要・ひょうご通訳センター の運営について・派遣事業の概要・ 報告書の書き方・その他
技術研修	7月28日	情報センター	22名	「模擬通訳演習」～場面に合わせた手話通訳 ～ 講師：池上 睦氏 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会 認定手話通訳者・手話通訳士

	9月14日	情報センター	30名	「模擬通訳演習」 ～医療場面～ 講師：池上 睦氏 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会 認定手話通訳者・手話通訳士
専門研修	12月22日	情報センター	56名	「手話通訳の皆さんへ」 講師：小林 泉氏 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会 副理事長 たじま聴覚障害者センター所長
	2013年 3月9日	兵庫県民会館	27名	手話通訳者・要約筆記者合同研修会 「情報保障現場での環境整備」 ～手話通訳と要約筆記が両方つく場 面の会場設営についてともに考え る～ 当事者聴力者：迫田理恵氏 仲光恵 氏

3. 派遣コーディネーター(手話通訳)

実施月日	4月		5月		6月		7月		8月		9月		6ヶ月合計	
件数・人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
	80	123	73	124	81	144	90	147	60	85	52	76	436	699
実施月日	10月		11月		12月		1月		2月		3月		12ヶ月合計	
件数・人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
	75	138	75	138	51	76	53	97	55	69	75	98	820	1,315

4. 兵庫県手話通訳者認定試験事業

手話通訳者養成課程修了者に対する全国統一試験を兵庫県手話通訳者認定試験と位置づけて実施した。

実施日時：2013年12月 7日（土）

合否発表：2014年 3月19日（水）

会 場	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	協力要員数
神戸市立総合福祉センター	112名	4名	108名	19名	18名

手話通訳者全国統一試験受験者フォローアップ研修会

日時：8月4日（日）10：00～16：00

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室兼研修室

内容：「手話の要約」「場面通訳（読み取り表現）」「場面通訳（聞き取り表現）」

参加者：26名

5. 設置手話通訳者会議の開催

県下各市町、社会福祉協議会、職業安定所で手話通訳者として業務をしている者を対象に設置手話通訳者会議を開催した。

第1回 設置手話通訳者会議

日時：5月15日（水）13：30～16：00

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内容：「兵庫県立聴覚障害者情報センター事業の事業報告と事業計画」の説明

兵庫県立聴覚障害者情報センター 所長 嘉田真典

「障害者総合支援法施行に伴う地域の現状と課題」意見交換

参加者：23名(1県、16市、1職安)

第2回 設置手話通訳者会議

日時：2月18日（火）13：30～16：00

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内容：・「第18回全国職業安定所手話協力員等研修会兼ろうあ者労働問題フォーラム」の報告

報告 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会 労働対策部長 岩本吉正氏

・意見交換 ・その他

参加者：18名

6. コーディネーター研修会の開催

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者及び手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターを対象に案内し、手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターの資質の向上を目的に研修会を開催した。

日時：11月19日（水）13：30～16：30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内容：手話通訳者・要約筆記者の派遣コーディネートにおける危機管理

講師：大谷大学社会福祉学准教授 志藤 修史 氏

参加者：23名

7. コミュニケーション支援事業担当者会議の開催

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者と設置手話通訳者を対象に案内し、各市町への情報提供や提案および情報交換をすることにより各市町における同事業の充実と均一化を図ることを目的に次のとおり開催した。

日時：9月11日（水）13：30～16：30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

参加者：53名（兵庫県・28市町）

内容：1. あいさつ

2. ひょうご通訳センター(手話・要約)事業報告
3. 派遣事業実態調査の報告（手話通訳・要約筆記）
4. 質疑応答・意見交換

県下における手話通訳者設置事業の充実と完全実施にむけて

「紀の川市手話通訳設置事業について」

和歌山県紀の川市貴志川支所 福井昭子氏

5. 質疑応答・意見交換・その他

8. けいわん検診の実施

県下でコミュニケーション支援事業に関わる設置手話通訳者、派遣事業の登録手話通訳者、要約筆

記者、盲ろう通訳・介助員および聴覚障害者福祉施設で働く職員を対象にけいわん検診を実施した。

○けいわん検診実施状況

1. 西宮会場 西宮市総合福祉センター

8月29日（木） 9:30～12:00 受診者 18名

2. 神戸会場 兵庫県立聴覚障害者情報センター

8月20日（火） 9:30～16:00 受診者 32名

8月27日（火） 9:30～16:00 受診者 33名

3. 高砂会場 高砂市福祉保健センター

10月10日（木） 11:00～16:00 受診者 31名

4. その他 独自実施の宝塚会場・西淀病院 受診者 2名

※申込者のうち再調整の結果上記3会場以外で調整した

検診結果は次の通り

判定結果	計
A： 健常期	31名
B1：疲労期	65名
B2：初期	19名
B3：顕性期	1名
C： 重症・遷延期	0名
計	116名

○受診結果報告と学習会の開催

受診結果については各市町、事業所の所属長、個人に通知し、同時に学習会への参加を呼びかけた。

日時：12月22日（日）10:00～12:00

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

テーマ：「手話通訳者と健康」

講 師：中村 賢治氏（医師（財）淀川勤労者厚生会・社会医学研究所 所長）

参加者：17 名（内検診受診者 4 名）

【要約筆記】

1. 登録状況 163 名（3 月 31 日現在）

2. 派遣実績

事業名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		6ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
要約筆記者	15	29	11	22	12	24	10	18	7	16	5	6	60	115

事業名	10月		11月		12月		1月		2月		3月		12ヶ月合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
要約筆記者	5	7	5	13	4	7	3	4	5	7	5	9	87	162

3. 研修会開催実績

研修会名	期 日	場 所	受講者数	研修内容
登録要約筆記者研修会	5月8日	情報センター	70人	「派遣事業について」 技術研修「伝わる文章を作る1 ～文の構築～」講師:登録要約筆記者
	6月2日	豊岡市民プラザ	11人	「派遣事業について」「総合支援法における要約筆記事業について 「筆記実習）」講師:登録要約筆記者
	6月9日	情報センター	94人	「派遣事業について」 技術研修「伝わる文章を作る1 ～表現力を磨く～」講師:登録要約筆記者
	6月30日	情報センター	73人	「パソコン要約筆記者のための手書きノートテイク入門」「手書きノートテイクの現場実習」講師:登録要約筆記者
	10月30日	情報センター	32人	「機材の設営実習」「ノートテイク模擬現場実習」講師:登録要約筆記者
	2月8日	情報センター	45人	「要約筆記事業研修会inいわて」参加報告(県難聴 増田氏) 「筆記・入力実習と検証」
	3月8日	情報センター	9人	情報保障現場での環境整備

情報センター・県難聴要約筆記部合同企画 派遣事業学習会・意見交換会

日時：5月26日（水）13：30～16：15

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 会議室

内容：兵庫県要約筆記派遣事業の説明、要約筆記への意見交換

参加者：17名

（１５）聴覚障害者緊急時情報通信事業

「ひょうご防災ネット」を活用して登録者の携帯電話やパソコンに「緊急情報」「お知らせメール」「緊急気象情報」を発信するもので県内市町でも活用されている。当センターにおいても「緊急メール」や「お知らせメール」を用いた必要な情報を発信した。

「ひょうご防災ネット」メール登録件数報告

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録件数	お知らせ 情報	795	836	839	838	837	895	917	919	916	912	918	923
	緊急情報	993	1,029	1,029	1,025	1,025	1,124	1,182	1,177	1,168	1,162	1,167	1,163

（１６）情報機器の利用・貸出事業

部室の利用状況報告

実施月	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月			
部屋名	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数		
会議室兼 研修室	18	501	24	503	27	861	20	635	19	964	22	1919		
(夜間)	1	10	1	18	3	33	1	20	1	20	3	710		
交流室	10	160	12	168	13	174	15	220	14	204	14	1519		
(夜間)	2	12	2	12	2	12	1	12	2	32	2	12		
その他来 館者	21	425	21	338	30	556	25	336	25	489	26	1460		
(夜間)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	0	0		
実施月	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		合 計	
部屋名	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議室兼 研修室	21	502	24	939	16	576	16	363	15	715	19	318	241	8796

(夜間)	1	21	2	120	1	10	0	0	2	29	2	40	18	1031
交流室	10	332	13	492	15	325	12	196	16	576	13	168	157	4534
(夜間)	2	12	3	130	2	12	2	12	2	12	2	12	24	282
その他来館者	21	633	22	533	19	240	22	278	25	692	26	343	283	6323
(夜間)	1	9	2	120	0	0	0	0	0	0	0	0	4	139

※その他来館者：情報サロン、IT 室等の利用者を含む

(17) きこえの相談事業

きこえの相談・・・言語聴覚士 岡

耳鼻科医師 岡野（不定期、水曜午前のみ対応）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期総数
コミ相談	12	12	17(1)	10	11	15	77(1)
機器相談	3	4	5	5	4	7	28
相談総数	15	16	22	15	15	22	105

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度総数
個別相談	12	15	13	13(1)	10	10	150(2)
医師相談	1	5	9	8	4	6	61
相談総数	13	20	21	21	14	16	211

〔相談内容〕

- きこえ・補聴器相談（聴力検査、疾患、補聴器適応・申請、補聴器装用試験について等）
- 福祉機器の相談（火災警報器関連機器、IT 情報機器、クラス内の情報保障の構築など）
- コミュニケーション（職場内、親子間 など）
- 生活相談（就業、福祉制度、介護支援 など）
- こどもの難聴について（両親指導、学習支援 など）
- 関係機関（役所、教育機関など）

〔評価・課題〕

- 展示・福祉機器の貸出件数増加 → 学習会での利用目的も増えている
- 更正相談所巡回相談廃止後の意見書作成等対応公的機関がない→ 県担当者に機能移管を相談中
- 啓発事業の実施→ 支援者を対象とした「聴覚障害」の理解セミナーを2地域で開講
社会資源の拡大とネットワークの構築を目指す
- 子供支援・親支援 → 夏に交流会企画を関係団体の協力の下実施。寺小屋企画の実施。
心理相談員と共に親子カウンセリングの対応（件数増加）

(18) こころの相談事業

こころの相談・・・臨床心理士 甲斐（月2～3回 不定期10～17時 土曜日）

淡路出向 年6回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
こころの相談 (センター)	59	56	56	39	38	31	38	43	35	38	22	47	502
こころの相談 (淡路)	6	—	4	—	—	3	2	—	4	—	4	—	23
合計	65	56	60	39	38	34	40	43	39	38	26	47	525

※淡路：年10回出向。淡路聴覚障害者センターからの依頼。

午前：淡路ふくろうの郷、午後：淡路聴覚障害者センター

【相談内容】

- 精神病対応（統合失調症、うつ病、双極性障害、パニック障害、神経症、人格障害など）
- 発達障害（疑いも含める）
- 自分の親、きょうだいとの関係（コミュニケーションなど）
- DV、離婚問題
- 障害認識、障害受容（難聴、失聴、精神病、網膜色素変性症など）
- 盲ろうによる孤独、不信感
- 過去の出来事（トラウマ）、依存症
- 住宅問題
- 就労支援、生活スキルの獲得
- 引きこもり
- 不登校問題
- 発達支援（重複障害も含む）
- 発達・心理検査
- コーダの問題
- メンタルヘルスに関する知識提供
- コンサルテーション／連携・情報交換

【評価・課題】

- 継続ケース、危機介入または重篤なケース増加。関係機関との連携も増加。
- 記録を書く時間が得られない。
- 親子面接の増加

(19) 盲ろう者相談事業

盲ろう者相談・・・盲ろう者担当 山田・森田（センター在勤：月1回13～16時）

別途、訪問相談あり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期総数
センター	0	0	1	0	6	1	8
訪問	0	1	1	2	1	2	7
合計	0	1	2	2	7	3	15

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期総数
センター	0	0	0	0	0	0	0
訪問	0	1	0	0	0	1	2
合計	0	1	0	0	0	1	2

〔相談内容〕

- 固定資産税
- 支援計画
- DV
- 家族としての関わり方
- 手話通訳者との関係
- コミュニケーション
- 福祉制度

〔評価・課題〕

- 書類管理のスキルを身につけるため、生活訓練が必要
- コミュニケーションが出来ないことでの家族関係の歪み(家庭内暴力・共依存関係)。
- 他者を排除する傾向にある盲ろう者に対する支援の困難
- 関係機関との連携が必要

(20) 難聴者教室事業

- 「トータルコミュニケーションについて」 (6月29日(土)申込7名、参加者5名

会場： アイティ アイホールB

「トータルコミュニケーションについて」

講師：兵庫県立聴覚障害者情報センター 岡 恵子 氏

内容：さまざまなコミュニケーション方法についてお話

体験してみよう 「読話」「筆談」「ジェスチャー」「手話」

●但馬地域聞こえを学ぶ集い（３月１５日（土））申込６名、参加者：３名

会場：アイティ 豊岡市民プラザ 市民活動室C、市民活動室B

講演：「消費生活相談員は見た！本当にあったこわ〜い話」但馬消費生活センター
難聴者の体験発表（難聴者）、補聴器の個別相談（認定店）

●手話歌を楽しもう（偶数月第３水曜（４月を除く））

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

講師は難聴者。さまざまな情報提供や取り組みも前半に加えて実施。要約筆記配置。

6/19（水）七夕づくり、「花は咲く」	参加者	13名
8/21（水）「花は咲く」「見上げてごらん夜の星を」	参加者	15名
10/16（水）頭の体操、「おおきな栗の木の下で」	参加者	14名
12/18（水）「切手のない贈り物」「赤鼻のトナカイ」	参加者	13名
2/19（水）折り紙ひな人形製作「どこかで春が」	参加者	12名

●手芸サークル（毎月第２水曜）13：30～15：30

場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

講師は、中途失聴の為に講師業を辞めていた方。再び指導できる場を提供。要約筆記配置。

製作品：パッチワーク、モラ、キャラクター手芸品 など

参加者の様子：家に引きこもりがちになるが、ここに来るとホッとする。できた作品を家族や友人に見せると喜んでくれる。テレビの上に置いて、いつも眺めているなど。

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加者	15	11	9	11	10	6	7	6	9	8	9

（２１）聴覚障害者災害対応訓練事業

１．兵庫県合同防災訓練の協力

兵庫県が毎年実施している合同防災訓練に参画し、聴覚障害者が訓練に参加しやすいように提言したり、県障害者支援課や地元市町と連携しながら地域の聴覚障害者に呼びかけ住民と共に訓練参加してもらい、防災意識の向上及び聞こえないことに対し住民の理解につなげた。

合同防災訓練全体会議

日時 平成 25 年 8 月 6 日（火）13:30～16:00
場所 姫路市防災センター
内容 兵庫県・姫路市・播磨地域合同防災訓練計画の説明

平成 25 年度兵庫県・姫路・播磨地域合同防災訓練

日時 平成 25 年 9 月 1 日（日）9:00～12:30
場所 前之庄小学校（姫路市夢前町）
内容 山崎断層による地震を想定した避難訓練、展示、救援物資配給訓練

2. 聴覚障害者災害支援ハンドブックの作成

阪神・淡路大震災の経験をもとに災害時、聴覚障害者がどのようなことに困るのか、どのような支援が必要なのかをまとめたハンドブックを作成し、関係機関に配布しました。

発行部数 300部

配布先 県下市町、兵庫県下の小学校、神戸市内の中学校、聴覚障害関係団体

3. 都賀川等「河川の安全見守り活動検証訓練」の参加・提言

この訓練は平成 20 年 7 月 28 日に起きた都賀川増水事故をきっかけに、地域住民を中心として梅雨・集中豪雨の季節の前に行われている。情報センターも地域支援機関の一つとして参加した。

日時：平成 25 年 6 月 17 日（月）午後 場所：都賀川公園周辺

河川の避難訓練の 1 つに文字ボードを掲げて避難情報表示があった。文字ボードによって情報が得られるのは良いことだが、慌てていると文字ボードに気づかなかったり、夜間だと見えるかどうか配がある。訓練が終わった後は自治会館に移動し、各団体やコミュニティの方々と消防・行政の方々と、訓練の結果や問題点についての意見交換会が開かれた。センターからは「河川の避難訓練の通行人として参加し実際に文字ボードや合図に気づくかどうか確かめたい」と要望した。

（22）その他（県委託事業）

手話通訳者等講師養成事業

県からの委託を受け、手話奉仕員・手話通訳者養成講習会の指導者を養成した。

1. 手話奉仕員養成事業講師講習会

開催期間：入門編 平成 25 年 9 月 6 日（金）～26 年 2 月 21 日（金）全 22 回

兵庫県聴覚障害者情報センター19回、(公社)兵庫県聴覚障害者協会3回

入門/基礎編 平成 25 年 9 月 3 日（火）～26 年 3 月 25 日（火）全 31 回

兵庫県聴覚障害者情報センター28回、(公社)兵庫県聴覚障害者協会3回

開催場所：入門編 神戸市立総合福祉センター

入門/基礎編 姫路市自治福祉会館

受講人数：入門編 20名（ろう者10名、健聴者10名） 【修了者17名】

入門/基礎編 18名（ろう者8名、健聴者10名） 【修了者17名】

2. 手話通訳者養成事業講師講習会

開催期間：平成25年7月31日（水）～26年3月19日（水）全32回

兵庫県聴覚障害者情報センター29回、(公社)兵庫県聴覚障害者協会3回

開催場所：神戸市立総合福祉センター

受講人数：23名（ろう者10名、聴者13名） 【修了者17名】

【その他】

・相談支援事業について

- ①相談記録の提出・保管…相談を担当した所長、岡、甲斐はほぼ提出し、保管している。
- ②定期的ケースカンファレンスの実施…2回しか実施できず定着していない。今後の課題。

①、②の実施理由

(1)相談員の相談支援技術の向上を図る。

(2)組織として対応、危機管理対応、相談員不在でも対応できるようにするため。

・広報

紙面掲載（情報センターだより：日程掲載）

冊子掲載（神戸市：人権にかかわる相談窓口の御案内、障害者福祉のあらまし）

IT関連（HP、防災ネット：相談事業紹介）

ビラ配布（講座受講者（内外含め）、見学者等）

・関連の動き

(岡)

- ☆ デフピープル助成金事業 難聴者のための手話教室（5月末～9月中旬）
- ☆ 中途失聴難聴者コミュニケーション事業（読話・手話講座：県内地域 か所）
- ☆ 「聞こえ」を学ぶセミナー（三木市：8/3）
- ☆ 難聴者教室（4企画）
- ☆ 「聴覚障害」の理解セミナー（たつの、篠山、加古川：計3回）
- ☆ 日本財団助成事業 寺子屋（情報センター、姫路、豊岡、宝塚）
- ☆ 日本財団助成事業 実態調査作業委員

☆ 聴覚・視覚・発達障害のための情報福祉機器展 (9/16)

☆ 福祉機器の貸し出し展示協力

10/20 アイフェスタ 2010 in 神戸 (JRPS 兵庫支部主催) など

(甲斐)

☆ アイフェスタ 2010 in 神戸

☆ 日本語企画

☆ 聴覚・視覚・発達障害のための情報福祉機器展 (聴覚の相談担当)

☆ 日本財団助成事業 寺子屋 (情報センター、姫路、豊岡、宝塚)

☆ 日本財団助成事業 実態調査作業委員

☆ 近畿ブロック聴覚障害者相談支援従事者連絡会 (事務局)

☆ 講師活動

・「聴覚障害」の理解セミナー (たつの、篠山、加古川)

・生活問題対策部会

・②兵庫県ろうあ者労働・福祉問題フォーラム講演講師 (兵庫県)

②要約筆記奉仕員から要約筆記者への移行のための補修研修講師 (情報センター)

③神戸市手話通訳謝養成講座 (基本) ソーシャルワーク概論講師 (神戸市：2 件)

④明石市登録手話通訳者研修会 (明石市)

⑤中途失聴・難聴者兵庫の集い講話講師 (明石市)

⑥たつのこ研修会講師 (尼崎市)

⑦尼崎市パソコン要約筆記者養成講座講師 (尼崎市：2 件)

その他 多数

(山田・森田)

☆ アイフェスタ 2010 in 神戸

☆ 「聴覚障害」の理解セミナー (たつの、篠山、加古川)

【収益事業等】

《収－１ 出版物等普及事業》

（１）出版事業

今年度も全体的に販売が低調し、売上額が約 760 万円と予算を大幅に下回る結果となりました。年度末に発行された新テキストを多く仕入れたことから、仕入金（売上原価）が予算より超えてしまいました。

事業部として兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどいで実施した福引きの賞品として自主制作書籍を出し、売上げ（冊数）が昨年度より増加しました。

手話講座のテキストが他の書籍より売上率がダントツでした。毎年、売上げベストの上位に入る「MIMI」をはじめ、他の書籍を各担当する理事と連携しながら、販売にも力を入れたい。

2013年度 書籍売り上げ（冊数）ベスト30 （協会への預け売り・売掛も含む）

2014年3月31日現在

順位	品 名	数 量	売上額 (円)
1	新・手話教室 入門	836	1,003,200
2	奉仕員テキスト	490	1,534,050
3	新しい手話 2014	466	391,440
4	手話教室 基礎（改訂版）	432	629,160
5	手話で防災 ～聴覚障害者の災害時支援のために～	242	126,525
6	わたしたちの手話学習辞典	231	630,630
7	小松博を想う＝ろう者と手話を愛した男＝	229	19,500
8	奉仕員養成 指導書	219	577,500
9	MIMI 141	209	156,750
10	MIMI 142	207	155,250
11	MIMI 143	201	150,750
12	MIMI 140	198	147,000
13	聴さん 今日も行く！	176	166,320
14	養成講座 基本課程（改訂版）	110	143,000
15	通訳Ⅰ 養成テキスト	94	273,420
16	新しい手話 2013	90	72,000
17	通訳者 講義テキスト（Ⅰ／Ⅱ共用）	84	148,155
18	たっちゃんと学ぼう	78	15,600
19	みんなでつくる 手話言語法	65	32,500
20	通訳Ⅰ 指導書	57	205,800

21	守ろう！LIFE ～聴覚障害者の防災体制の確立のために～	50	68,250
22	通訳Ⅱ 養成テキスト	46	132,300
23	実用手話単語集（入門対応）	40	76,000
24	兵庫の手話セット	36	72,000
25	新しい手話 2012	33	26,400
26	通訳Ⅱ 指導書	32	113,925
27	学校の手話	30	78,750
28	養成講座 応用課程（改訂版）	30	42,000
29	全国防災対策会議 報告書～地域の「災害ネットワークづくり」を目指して～	17	17,000
30	音をつかむ未来をつかむ	16	27,200

（２）事業部

1. 要約筆記用ＯＨＰロール・補聴器電池・筆談器販売事業

兵庫県立聴覚障害者情報センター内で聴覚障害者用福祉用具や関連商品の販売・普及、また聴覚障害の理解を深めるための講演にセンター職員の講師を派遣した。

ロール紙 合計１，００５本

補聴器電池 ３２個

筆談器 かきぼん@2,800 ８個、ＣＯＢＯ@1,600 ７個

情報センター職員講師派遣件数 １３件

2. 自動販売機事業

設置数：３台

- ・神戸ろうあハウス
- ・たじま聴覚障害者センター
- ・兵庫県立聴覚障害者情報センター（オリジナルデザイン）

3. 国際手話講座【全５回】

日 時

第１回 ２月２３日（日）あすてっぷ KOBЕ 神戸市男女共同参画センター

第２回 ３月 １日（土）神戸市立総合福祉センター

第３回 ３月 ９日（日）神戸市立総合福祉センター

第４回 ３月１５日（土）神戸市立総合福祉センター

第５回 ３月２２日（土）神戸市立総合福祉センター

時 間：１０：００～１２：００

講 師：伊藤芳子氏

参加人数：８名

4. その他

亡きろう運動家・小松博氏の存在を改めて挙げるために参加者へのサービスを提供し、また今後の活動費に補助するために、福引くじ販売を実施した。

日時：2014 年 1 月 12 日（日）

場所：篠山市四季の森生涯センター

販売数：250 部

費用（1 枚）：1000 円

《収-2 ひょうご聴覚障害者介護支援センター運営事業》

ひょうご聴覚障害者介護支援センター

介護保険法

- ・居宅介護支援事業（ケアマネージャーによるケアプラン作成・認定調査）
- ・訪問介護事業・介護予防訪問介護事業（ホームヘルパーの派遣）

障害者自立支援法

- ・居宅介護
- ・重度訪問介護事業
- ・同行援護

I 運営委員会開催

1. 開催日（月1回 合計12回）

4／18、5／16、6／20、7／18、8／22、9／26、10／21
11／29、12／19、1／16、2／20、3／20

2. 運営委員（8名）

守谷嘉之・嶋本恭規・嘉田眞典・古隆喜・中島正二・久保田真由美・西村リエ・東光子

3. 内容

- ・兵庫県内の高齢者支援について（特別養護老人ホーム 淡路ふくろうの郷と合同会議）
- ・同行援護事業開始について
- ・同行援護事業について
- ・サービス担当者会議の開催についての取り決め
- ・障害者委託訓練『介護職員初任研修』の進捗状況
- ・障害福祉サービスの契約書・重要事項説明書の変更の報告
- ・課題（広域派遣・ヘルパー不足・地域との連携・重度化する利用者さんへの対応）についての意見交換
- ・安否確認方法の検討

3. 前年度比較

(1) 訪問介護延べ派遣日数・派遣時間

	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	介護保険	自立支援	介護保険	自立支援	介護保険	自立支援
派遣時間	5046.5 時間	287.5 時間	4478.0 時間	506.5 時間	4,347 時間	839 時間

(2) 介護度（平成 26 年 3 月現在）

	平成 24 年度	平成 25 年度
要支援 1	1	0
要支援 2	1	3
要介護 1	2	2
要介護 2	5	7
要介護 3	3	1
要介護 4	5	2
要介護 5	0	0
障害者	5	6
合計	22 人	21 人

(3) 年齢（平成 26 年 3 月現在）

	平成 24 年度	平成 25 年度
6 5 歳未満	6	8
7 0 歳未満	1	2
8 0 歳未満	5	3
9 0 歳未満	7	6
9 0 歳以上	3	2
合計	22 人	21 人

4. 平成 23 年度地域別利用者数

派遣地域（平成 26 年度末現在）

尼崎市、神戸市、明石市、多可郡、三田市、豊岡市

ブロック	介護保険法	障害者 総合福祉法
阪神	1	0
神戸	11	6
東播	1	0
西播	0	0
北播	1	0
丹有	0	0
但馬	1	0
合計	15 人	6 人

Ⅲ ヘルパーについて

1. 登録ヘルパー

人数：58 名 （ろうあ者 30 名 健聴者 28 名）

2. ヘルパー会議および研修

月1回（基本的には毎月6日 14時～ 兵聴協事務所）

活動しているヘルパーが情報の共有をしたり、知識・技術などの学習を行っている。聴覚障害者の運動の歴史や活動も学び、どういう視点で支援していくかの議論も行っている。

3. 登録ヘルパー研修会

① 6月30日（日）『さあ！体を動かそう！』講師：健康運動指導士 高原久美子氏
身体に負担をかけない動きを知り、ヘルパーの健康保持に役立てられるよう学習をした。
また、高齢者の廃用を防ぐ運動を学び、ヘルパーとともに行えるように企画をした。

② 9月7日（日）特別養護老人ホーム いこいの村施設見学

講演：梅の木寮施設長 奥本初美氏

バスを借りて、いこいの村の見学に18名で行く。30年の歴史を学び、梅の木寮・栗の木寮の見学をさせていただいた。また綾部東部在宅支援センター、デイサービスセンターの話も伺い、他府県の取り組みや活動の学習ができた。

③ 12月1日（日）『排泄ケアと介護の基礎』

講師：ミニむつき庵神戸ゆうほう 排泄アドバイザー堺谷珠乃氏

それぞれの利用者に合った気持ちのよい排泄を、排泄のメカニズムも含めて学習を行った。

④ 2月1日（土）『ボディーメカニクス』講師：ニチイ学館 竹平恵子氏

入浴・排泄・移乗などの身体介護を必要とする利用者が増えてきている中、利用者・ヘルパーともに負担のかからない介護方法を学ぶ。

⑤ 3月30日（日）兵通研と合同学習会『糖尿病について』

講師：江原内科クリニック 江原重幸氏

高齢者がよくかかる病気『糖尿病』をより詳しく学習を行った。兵通研と合同で開催し、広く参加を呼びかけ、聴覚障害者の社会資源の一つである当事業所のPRも行う。

IV 講演活動

・（神戸市垂水区 ふれあい班からの依頼）

1月27日（月）レバンテ垂水

『認知症』～高齢聴覚障害者にどう関わったらいいのか？～

サービス提供責任者：久保田

・（全日本ろうあ連盟 介護保険等学習会）

2月14日（金）

『現場からの報告』

- ・（姫路市教育委員会生涯学習課からの依頼）

3月16日（日）姫路市自治福祉会館

姫路市かしの木学級 『老後を元気に～ろうあ者と介護保険～』

ケアマネージャー：中島

V 総括

1. 障害福祉サービス『同行援護』の事業開始

平成25年9月～事業の幅を広げ、多くの聴覚障害者に対応すべく、同行援護事業を立ち上げる。視覚障害により、移動に著しい困難を有する聴覚障害者の外出時に、当該障害者に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに援護を行う。

利用は現在ないが、多くの聴覚障害者に対応すべく、事業の幅を広げた。

障害を正しく理解するための学習を重ね、利用者に寄り添う介護を目指している。

2. ヘルパーの質の向上を目指した学習の開催

毎日介護が必要な重度の方や利用者の高齢化に伴い、体に触れる身体介護の時間数が増えてきている。ヘルパーの人材確保と質の向上が継続課題である。今年度はヘルパー会議や登録ヘルパー研修会で、排泄介助方法を勉強したり、最小の労力で最大の効果の体の使い方ボディメカニクスを学び、ヘルパーの介護技術の向上を目指した。

3. 行政への取り組み

昨年度に引き続き、当事業所の特性の理解と普及を目的に、ヘルパーと一緒にパンフレットの行政へ置いてもらえるよう活動をした。5月13日にはケアマネ協会（高砂・加古川・稲美町・播磨町）の総会で時間をいただき事業所PRができた。その他地域でもPRの機会が作れるよう協会・ヘルパーと共に活動が必要。

住み慣れた自宅で安心した生活が送れるようにと地域に根ざした介護が一般的であるが、当事業所がなぜ広域で派遣しているのかを行政や介護に関わる事業所にわかっただけのよう啓発活動が急務である。ヘルパーの技術や質は向上しているが、毎年利用人数が一定で伸びない。聴覚障害者のコミュニケーションが置き去りにされているケースも多く見られまだまだ課題が多い。

《他－１ 会員・関係団体相互扶助事業》

(概要)

(１) 青年部

１．総括報告

２０１３年４月に親団体である兵庫県聴覚障害者協会が公益社団法人となってから３年目を迎えました。今年度は８回常任委員会を開催することができました。しかし、全員出席はありませんでした。次年度はぜひ実現できるように反省点を生かしていきたいと思います。

事務局に関しては、常任委員会の招集・議事録作成、行事に関して公文書作成、各行事の案内呼びかけを行い、青年部の活動に微力ながらも関わっていくことができました。さらに各行事の参加率をアップすべく呼びかけを工夫するなど改善していきたいと思います。

編集部に関しては、毎月ろうあ兵庫に青年部のページを掲載して青年部の取り組みなどを周知してきました。しかしながら、昨年につき青年部ブログを更新することができませんでした。

組織部に関しては、企画のたびにアンケートをとり、今後どのような企画が求められているかを研究調査してきました。一般会員からのアンケート結果から、兵聴協青年部の三大大行事を始め、各行事の位置づけを明確にする必要性が高まってきました。研究調査の継続と、調査結果を関係者で共有していくことが重要だと考えています。

事業部については、「第７回ふくろう・ふれ愛まつり」に県青年部として出店しました。今年も揚げたこ焼きを作って販売しました。１つになって何かを成し遂げることは大きな経験になったのではないのでしょうか。お客さんにも好評でした。また、オリジナルグッズも近畿・全国の各行事にてたくさん販売できました。

また、篠山市で開催された「第４０回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい」では、新成人が６名出席され、昼食時間を利用して常任委員と新成人との懇親会が行われ、新成人に青年部のことを知ってもらい良いきっかけになりました。また、お互いに親睦も深めることができました。

１７期最後の年となった２０１３年度では、神戸で開催された第４５回近畿ろうあ青年研究討論会を成功させることができました。特に２日目に社会に対して聴覚障害や手話に対する理解を求めて神戸駅周辺を歩いたアピールウォークを行うことができたのは大きなことだと想います。次期年度になる今年は新しい役員へ引き継いで、より若い青年やＵ－３５の仲間たちとの繋がりを深め、未来へつなげていけるよう皆で共に頑張っていきたいです！

① ３本柱の基本を作っていこう！

第２５回兵庫県ろうあヤングレクリエーション・スポーツふれあい合同企画と、第４５回近畿ろうあ青年研究討論会、社会生活教室を元に、兵庫県に住むろうあ青年と共に仲間

づくり・学習づくり・要求づくりをすることができました。また、県内のみでなく、近畿、全国の多くのろうあ青年たちと出会い、情報や意見を交換することができました。これからもより活動範囲を広め、行事などを充実させられるように取りくんでいきます

②各協会青年部との連絡体制の強化を図ろう！

2013年度は、行事の参加呼びかけや企画運営などに関し、各ブロックの常任委員がパイプ役として取り組んでももらいました。専門部もMLを通して連絡のやりとりを積極的に行いました。しかし、連携が不十分な部分もありました。2014年度は、県青年部全体として、この反省点を考慮しさらなる改善を図ります。

③三大大事を大きく盛り上げていこう！

2013年度の3大行事、

7月20日に姫路の家島でスポーツ部と合同で行われた「海に行くなら？家島でしょ！！（第25回ヤングレクリエーション・スポーツふれあい）」は暑い中バーベキューやカヌーを楽しみ新しい仲間ができたのではないのでしょうか。またスポーツ部とのパイプも強めることができたと思います。10月12～13日に神戸で行われた「第45回近畿ろうあ青年研究討論会」では、県青年部みんなの力をあわせて準備してきました。分科会ではたくさんの意見が飛び交い、交流会では他府県の青年と交流ができました。最も大きなことは2日目に神戸駅周辺でアピールウォークをしたことです。101名が横断幕やプラカードを持ち、私たちの思いを知ってほしいと行進しました。2月に行われた社会生活教室ではスポーツ部と合同で行われ、デフリンピック女子サッカー選手のドキュメンタリー「アイ・コンタクト」を鑑賞し、サッカー選手から台北で行われたデフリンピックやサッカーを始めたきっかけなど色々お話を伺いました。

④県、近畿、全国の行事に参加しよう！

前年度と比較して、参加人数が増えた行事と減少している行事があります。2014年度はさらに企画内容の工夫や呼びかけ方法などを検討していきます。

④ ひょうご聴障ネットに協力していこう！

2012年度と同様に、ふくろう・ふれあい祭りに参加し、ネットの活動にも関わっていききました。もっと聴覚障害者に対する理解、立場になった福祉事業や計画を取り入れるように、2014年も引き続き、ひょうご聴障ネット会員拡大、ひょうご聴障ネットが関わる企画に積極的に参加して知識を深めていきます。

⑥特別企画を設けて活動を拡大していこう！

2013年度特別企画「ろう子どもふれあい企画」と「青年のすゝめ」を開催してろう子どもと交流したり、今の青年部について何ができるか話し合いました。また、昨年8月に聴覚障害者情報センター主催で行われた「聴覚障害児を持つパパ&ママ交流会」ではパパ&ママがお話を聞いている間、子どもたちのペイントアートのお手伝いやゲームに協力しました。これからもろう子どもとふれあいを大事にして将来につなげて行きたいと思います。

⑦近畿ろうあ青年研究討論会を成功させよう！

昨年１０月１２～１３日に兵庫県で開催された近畿ろうあ青年研究討論会では実行委員会を立ち上げ、一丸となって準備を進めてきました。おかげさまで１０１名の参加があり、アピールウォークも行えました。参加者・実行委員会にとっても良い経験になったのではないのでしょうか。

２．事業経過報告

日 程	事 業 名	開催地	参加人数
４月 ７日	２０１３年度近畿ろうあ連盟青年部代議員会	兵 庫	５名
４月１３日	（公社）兵庫県聴覚障害者協会青年部 総会	神 戸	１１名
６月１５日	第６１回全国ろうあ者大会【青年のつどい】	山 形	４名
７月２０日	青年部・スポーツ部合同企画第２５回兵庫県ろうあヤングレクリエーション・スポーツふれあい「海に行くなら？家島でしょ！」	姫 路	５４名
７月２１日	近畿ろうあ連盟青年部幹部研修会	滋 賀	１名
９月１日	第２８回近畿ろうあヤングフェスティバル	大 阪	１３名
９月２８日～２９日	第３２回全国ろうあ青年活動者会議	福 島	３名
１０月６日	第６３回近畿ろうあ者大会青年のつどい	京 都	９名
１０月１２日～１３日	第４５回近畿ろうあ青年研究討論会	神 戸	１０１名
１０月２７日	第７回ふくろう・ふれ愛まつり	淡 路	６名
１１月２日～４日	第４７回全国ろうあ青年研究討論会	京 都	２２名
１２月１日	近畿ろうあ青年部中間代議員会	尼 崎	２名
１月１２日	第４０回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いの集い	篠 山	８名 (新成人６名)
２月１日	スポーツ部&青年部合同講座(社会生活教室)	西 宮	２４名
２月８日～９日	西日本エリア幹部研修会	香 川	５名
２月２２日～２３日	第４４回全国委員会	東 京	１名
３月２９日	ろう子どもふれあい企画	明 石	４名
３月２９日	青年のすゝめ	明 石	５名

３．編集部活動報告

- １．青年部の行事報告や毎月の時事問題を掲載して情報を発信することができました。
- ２．近畿ろうあ連盟青年部が発行している「Kinsei」の記事作成に協力することができました。

４．組織部活動報告

今年度は、アンケートを１回実施した。

より良い反省材料を得るために、答えたい・答えやすいアンケートを工夫し、回収率は上がった。これからも今後の活動につなげられるようなアンケートを作成していきたい。

また、アンケート以外にも会員にとって魅力的な企画は何か？非会員を会員に誘えるような魅力的な青年部としての企画は何か？を考えていきたいと思う。

5. 事業部活動報告

事業部では、オリジナルグッズの検討、上位団体からのグッズ販売協力などを中心に活動してきました。また、淡路ふくろうふれ愛まつりでは常任委員の協力を得て「あげたこ焼き」を調理販売しました。

オリジナルグッズに関しましては、2013 年 10 月に近畿ろうあ青年研究討論会が兵庫にて開催されるにあたって、運営協力として常任委員&青年部員の協力により色々なアイデアを募り、オリジナル T シャツを制作しました。主に近畿ろうあヤングフェスティバル、全国ろうあ活動者会議、近畿ろうあ者大会を中心に販売しました。大会終了後も引き続き、淡路ふくろうふれ愛まつり、全国ろうあ青年研究討論会にて販売し、兵聴協青年部をアピールできたのではないかと思います。

(2) 女性部

1. 総括報告

◆第36回女性部会定期総会の開催

平成25年4月14日（日）神戸市立総合福祉センター 定数61名／出席34名（うち委任19名）無効（8名）。 毎年のことですが、出席率がよくありませんでした。それぞれご都合があるとは思いますが、年に1度の大切な総会です。多数のご出席をお願いしたいものです。

7月には西宮にて「近畿ろうあ女性フォーラムを開催するため、県下女性部のみなさんに毎年開かれる「県ろうあ女性のつどい」の開催を中止することと、「近畿ろうあ女性フォーラム」参加呼びかけの協力をお願いしました。

◆社会見学

平成25年5月25日（土） 岡山県牛窓 参加者 60名 貸切バスで岡山県牛窓のオリーブ園を訪れ、ヨット・クルージングと備前焼き体験コースに分かれての参加をしました。今年は晴天に恵まれ、オリーブ園の丘ではそよ風にふかれながら瀬戸内海の景色に見とれました。男性の参加が8名と多かったですが、ヨット・クルージングに惹かれて参加の方が殆どでした。備前焼体験ではお皿やマグカップを型取りして焼きましたが、思ったよりも難しかったです。旧家敷保存の料理屋で豪勢な昼食をいただいたり、近くを散策したりとゆっくりできました。事故もなく、無事に一日を過ごせたことは幸いでした。

◆大学学習会の開催

近畿ろうあ連盟女性部主催の大学学習会を平成25年7月13日（土）午後1時半～ 西宮市立勤労会館 参加人数89名（うち兵庫41名）、テーマ「障害者虐待防止法について」講

師 辻川圭乃（つじかわ・たまの）氏に講演を頂きました。実際にあった事件や事例を交えながら「身体的」「性的」「心理的」「放置・ネグレクト」「金銭搾取」について説明があり、わかりやすい講演でした。この防止法は障害者の自立および社会参加の確保のためにできたものです。聴覚障害者で特に高齢の方の中にはこの虐待にあてはまるケースをよく聞くことがあります。この法律を活用する力を私たちも身につけていきたいものです。男性やサークルからの参加が多くて、質問も積極的にあったのは良かったと思います。

◆第43回近畿ろうあ女性フォーラムの開催

平成25年7月14日（日）西宮市立勤労会館大ホール 参加者225名（うち兵庫132名）。式典の後、5つの分科会に参加し、意見を出し合い、熱い討論がなされました。特に大きな問題もなく無事に終了することが出来ました。協力をいただいた開催地の西宮市聴力言語障害者協会ろうあ部会女性部や地元サークルのみなさん、ご協力ありがとうございました。次回開催地は京都です。

◆第48回全国ろうあ女性集会

全日本ろうあ連盟女性部主催で、平成25年10月12日（金）～14日（日）愛媛県松山市（愛媛大学）において開かれました。参加者516名（うち兵庫8名）です。

参加メンバーはそれぞれの分科会に参加したあと情報交換をしました。特別講演は、一般財団全日本ろうあ連盟の参与で弁護士の松本晶行氏「ろうあ者のあゆみ」でした。ろうあ運動の始まりは「蛇の目寿司事件」からです。理解のない社会から差別を受けてきた私たちが、粘り強くろうあ運動を続けていったことによって障害者差別解消法など法律を改正してきました。これからも運動を続けて、後輩のみなさんにつなげて行こう。そのためには学習を深めていかなければなりません。

今回は遠く、韓国からろう女性11名がこの集会に参加されました。韓国女性のパワーに圧倒されながらも楽しく交流が出来ました。韓国ろう女性部長から「韓国手話辞典」の贈呈を受けました。兵庫県立聴覚障害者センターに保管してありますので、機会があればぜひご覧ください。

◆女性部会の開催

平成25年12月8日（日）午前10時～神戸市立総合福祉センターで開催しました。参加22名 委任35名 欠席1名。総会出席より委任のほうが多かったです。今年度は近畿ろうあ女性フォーラムを担当のため、中止になりましたが、次回26年度「兵庫県ろうあ女性のつどい」は西脇市での開催を決定しました。皆で助けあって西脇のつどいが成功できるようご協力をお願いします。

◆女性セミナー（社会生活教室）開催

平成25年12月8日（日）神戸市立総合福祉センター 参加者 40名
午後からは当日参加者が加わったため、40名となりました。「防災のためのロープワーク

を学ぼう」を学びました。兵庫県防災士会からは当初3名で来られるとお聞きしていましたが、講師とスタッフ6名も来られてびっくりしましたが、マンツーマンでの指導をして頂きました。又、部屋が狭かったために盲ろう女性の参加にうまく対応が出来ず申し訳ありませんでした。事前に申込みをいただけるような欄を設けるべきだったと思います。ロープワークに対する参加者の関心が高く、早く身に付けたいと張り切っていましたが、段々と難しくなってロープを結んだり、ほどいたり、思うよりうまく行かなくて四苦八苦でした。簡単に覚えられなくても、何回も繰り返せばマスター出来ると言われました。

◆デフ女子会（新年会）開催

平成26年1月26日（日） 懐石料理「梅の花」（神戸市中央区海岸通り）参加者31名
 昨年はバイキング方式でしたが、今年は趣を変えて懐石料理「梅の花」に行きました。参加者は31名とあってにぎやかで、料理もおいしく堪能しました。ちょうどこの頃の雨上がりで六甲山のふもとに虹が3連続かかって、皆良い兆しだと大喜びでした。

3. 事業経過報告

年 月 日	内 容	参 加 数	会 場
H25年 4月 14日(日)	第36回女性部会定期総会	34(うち委任19)名	神戸市立総合福祉センター
5月 25日(土)	社会見学(岡山・牛窓)	60名	岡山県
7月 13日(土)	近畿ろうあ女性部大学習会	89名	西宮市勤労会館
7月 14日(日)	近畿ろうあ女性フォーラム	225名	西宮市勤労会館
12月 8日(日)	社会生活教室(女性セミナー) 「防災のためのロープワークを学ぼう！」	36名	神戸市立総合福祉センター
12月 8日(日)	女性部会	22名(13協会)	神戸市立総合福祉センター
H26年 1月 26日(日)	新年会(デフ女子会)	31名	元町 梅の花
★平成25年度役員会			
●役員会			
H25年4月 14日(日)	第 1 回役員会	10名	神戸市立総合福祉センター
5月 3日(金・祝)	第 2 回役員会	9名	クリスタルタワー4F
6月 8日(土)	第 3 回役員会	9名	クリスタルタワー4F
6月 30日(日)	第 4 回役員会	10名	西宮サイゼリヤ
7月 14日(日)	第 5 回役員会	10名	西宮サイゼリヤ
9月 12日(木)	第 6 回役員会	5名	クリスタルタワー4F
10月 26日(土)	第 7 回役員会	9名	クリスタルタワー4F
11月 4日(月・祝)	第 8 回役員会	8名	神戸市立総合福祉センター
11月 7日(木)	印刷作業	3名	クリスタルタワー4F
12月 8日(日)	第 9 回役員会	10名	神戸市立総合福祉センター
H26年 1月 26日(日)	第10 回役員会	8名	元町
2月 11日(火・祝)	第11 回役員会	8名	クリスタルタワー4F
2月 22日(土)	オルグ(第37回ろうあ女性のつどい)	3名	西脇市総合福祉センター
3月 8日(土)	第12 回役員会 & 総会準備	9名	クリスタルタワー4F
★近畿・全国ろうあ連盟女性部			

年 月 日	内 容	開 催 地	参加人数(名)		
●近畿ろうあ連盟女性部			近 畿	兵 庫	
H25年 4月 27日(土)	定期代議員総会	大阪・谷町福祉センター	19	4	
6月 9日(日)	第1回本部委員会	守口障害者生活支援事業所	7	2	
6月 30日(日) 同上	第2回本部委員会 座長・助言者・通訳者・記録者の打合せ	西宮総合福祉センター	7 25	10 15	
7月 13日(土) 7月 14日(日)	大学習会 第43回近畿ろうあ女性フォーラム	西宮市勤労会館	89 225	41 132	
11月 30日(土)	第3回本部委員会 代議員会・報告会	大阪・谷町福祉センター	7 27	2 3	
H26年 3月21日(金・祝)	第4回本部委員	大阪・谷町福祉センター	9	3	
●一般財団法人全日本連盟女性部			全国	近畿	兵庫
H25年10月12日～14日	第43回全国ろうあ女性集会	愛媛県松山市	516	54	8
H26年 1月31日(金) 2月1日～2月2日	第38回全国委員会 第40回幹部研修会	大阪・谷町福祉センター 大阪・谷町福祉センター	21 116	5 29	2 3

平成26年度活動方針

1. ひとりぼっちのろうあ女性をなくしていきましょう。
1. ろう女性に関わる全国・近畿・県・市等の大会や学習会に積極的に参加して知識を高めていきましょう。
1. 聴覚障害者の情報保障の基盤となる手話言語法について学習をしながら、手話言語法の獲得のための運動を進めましょう。
1. 第34回兵庫県ろうあ女性のつどい in 西脇へ積極的に参加しましょう。

平成26年度行事計画

兵庫県聴覚障害者協会女性部

平成26年 4月 13日 (日) 第37回女性部会定期総会
 平成26年 6月 7日 (土) 社会見学(奈良)
 平成26年 9月 7日 (日) 兵庫県ろうあ女性のつどい(西脇)
 平成26年 11月 30日 (日) 社会生活教室『女性セミナー』
 平成27年 2月 日 (未定) 女性部会/デフ女子会(親睦会)

近畿ろうあ連盟女性部

平成26年 4月26日(土) 代議員会&総会(大阪・谷町福祉センター)
 平成26年 6月 日() (未定) 第1回本部委員会

平成26年 6月28日(土) 第2回本部委員会／座長・助言者・通訳者・記録者の打合せ会
平成26年 7月12日(土) 大学学習会
平成26年 7月13日(日) 第44回近畿ろうあ女性フォーラム (京都府)
平成26年11月29日(土) 代議員会・報告会 (大阪・谷町福祉センター)
平成27年 3月 日() (未定) 第3回本部委員会 (大阪・谷町福祉センター)

一般財団全日本ろうあ連盟女性部

平成26年10月24日(金)～26日(日) 第44回全国ろうあ女性集会
(岩手県花巻市)
平成27年 1月23日(金) 第39回全国委員会 (福島県)
平成27年 1月24日(土)～25日(日) 第41回幹部研修会 (福島県)

(3) 高齢部

1. 活動のまとめ

- ① 第9回兵庫県ろうあ高齢者GG大会は神戸しあわせの村で行われました。これまでGG大会を開催すると雨が降るというジンクスがあり、当日も雨が降りそうな天候でしたが、無事に行われました。62名の参加者は2つのコートを合わせて18コースで打ち回りました。ボールがホールポストに入る度に「やった!」と歓声を上げたり、外れて「あ～」とため息が出たりして盛り上がりました。
- ② 敬老会は神戸市立総合福祉センターで行いました。80歳以上の長寿者は18名もおられ、インタビューでこれまでの人生について答えて頂きました。彼らは戦争体験をされており、その混乱のさなかで生き抜いてきた様子は戦争を知らない者にとって大変恐ろしく、平和が一番だということが伝わってきました。
- ③ こうれいしゃ講演会は一昨年までの参加者は20名も満たない状態でしたが、別々の日に行われていた敬老会を午前・午後に分けて同じ日に開催する形で企画したら成功したので引き続き同じ日にしました。歯医者村上旬平さんがパワーポイントを使いながら、歯のことについて分かりやすく講演して頂きました。質問をする方が次々と来るくらい歯の健康について関心を持っていることがわかりました。
- ④ 恒例の旅行会は岐阜の飛騨高山の旅でした。参加者は通訳者を含めて34名で、男性より女性のほうがやや多めでした。当日の朝は大雪が降ったために渋滞が発生して時間が掛り、観光取り止めとなりました。翌日には観光できなかった高山まつりの森に行け、お目当ての白川郷へ行くことが出来ました。やはり雪景色は神秘的で、見応え充分でした。帰りは雪がすっかり解けていたのでスムーズで皆怪我もなく予定通りに無事に帰り着きました。

2. 事業経過報告

<兵庫県>

平成25年

4月14日(土)	第2回高齢部総会	神戸市勤労会館 (出席24名・委任20名)
5月13日(月)	第8回役員会	神戸総合福祉センター(9名)
7月8日(月)	第9回役員会	兵聴協事務所(7名)
18日(木)	2013社会見学	NHK大阪放送局(37名)
9月2日(月)	第10回役員会	兵聴協事務所(7名)
22日(日)	第27回兵庫県ろうあ者敬老会	神戸総合福祉センター(61名)
22日(日)	第3回こうれいしゃ講演会 「高齢者と『歯』との関わり」	神戸総合福祉センター(50名) 村上旬平氏
11月3日(日)	第9回兵庫県ろうあ高齢者GG大会	神戸しあわせの村(66名)
12月9日(月)	第11回役員会	神戸総合福祉センター(7名)

平成26年

2月3日(月)	第12回役員会	兵聴協事務所(7名)
2月14日(金)	～15日(土) 1泊2日の旅	【岐阜・飛騨高山】(34名)
3月17日(月)	第13回役員会	兵聴協事務所(7名)

4月12日(土)	第3回高齢部総会	あすてっぶKOBÉ
----------	----------	-----------

(出席22名・委任24名)

<近畿>

平成25年

5月22日(水)	近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	【大阪】(3名)
8月24日(土)	第34回近畿ろうあ高齢者大会&	【奈良】(3名)
～25日(日)	第24回GB競技大会&第4回GG競技大会	
11月6日(水)	近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	【大阪】(2名)

<全国>

平成25年

10月21日(金)	第25回全国ろう高齢者大会&	【埼玉】(10名)
～22日(日)	第27回ゲートボール競技大会&	
	第4回グラウンドゴルフ大会	

平成26年

2月20日(木)	第6回全国高齢部代表研修会	【静岡・熱海】(0名)
～21日(金)		

（４）スポーツ部

１．総括報告

本年度は、７月２６日～８月４日までの１０日間、第２２回夏季デフリンピック（ブルガリア・ソフィア）が開催されました。兵庫県から日本代表選手１３名を派遣しました。まだデフリンピック知名度が低く企業スポンサーがなかなかつかず、強化合宿や遠征に関わる費用はほとんど選手負担になっているため、夏季デフリンピック募金活動を展開し、兵庫目標額１５６，０００円を上回る２５７，０８５円を集めることができました。全国から集められた募金額は、全ろう連スポーツ委員会より日本代表選手へ振り分けられました。さらにデフリンピックピンバッジ（２０１１冬季ハイトラス１００個・２０１３ソフィア５２個）の販売も行ない、売上収益金を募金にあてることができました。次回の夏季デフリンピックは、２０１７年にトルコ・アンカラで開催予定です。また、２０１５年２月２７日～３月７日第１８回冬季デフリンピック（ロシア・ハンティマンシースク）も開催予定です。こちらも何かとご協力をお願いすると思います。

第４０回近畿ろうあ者体育大会（大阪）の参加人数が前回より１８名増えました。また、第４７回全国ろうあ者体育大会（富山）も参加人数が前回より１１名増えました。高校生の参加もみられ、来年度も引き続き若い芽が育つことを期待します。

第４２回全国ろうあ者冬季体育大会が栃木県那須塩原市で開催されましたが、競技初日に記録的大雪によりスキー場が閉鎖され、また参加者全員が宿泊しているホテルも停電が発生、復旧のめどがたたずホテルまで閉鎖のため参加者の安全優先を考え、急きょ大会中止となりました。４年ぶりの大会を楽しみにしていた参加者の方々、また冬季デフリンピック出場を目指して練習に励んでいた選手の方々にとって大変残念な結果となりました。突然の中止決定にも関わらず、実行委員会のご尽力により別の安全な宿泊所へ移動し、全員が無事に帰宅することができました。

本年度より、青年部ＹＲ（ヤングレクリエーション）とスポーツふれあいがコラボし、『海に行くなら？家島でしょ！』の合同企画をしました。子供同伴で参加する方もおられ、姫路から船で島へ渡り、バーベキューやカヌーなど普段できない体験を楽しみました。来年度も青年部と楽しい企画を練り出して参加者を増やしていきたいと思います。

兵庫県ろうあ者社会生活教室も、青年部との合同企画となり、デフサッカー女子日本代表チームのドキュメンタリー映画「アイ・コンタクト」の上映会を開催し、出演選手を招いてデフサッカーとデフリンピックの魅力をトークセッションしました。

兵庫県ろうあ者ソフトボール大会は、人数不足による合併チームがあったものの、4チームの参加がありました。姫路が2連覇優勝を果たしました。25協会による対抗交流試合を32回続けてきましたが、前年度に比べ参加者が20名ほど減り、会員の高齢化および若年の会員減少もあってか参加者を集めるのも限界がきているとの悲鳴を受け、大会存続が危ぶまれています。25協会へのアンケート結果をふまえ、ここ総会にて討議したいと思います。

1) 青年部YR&スポーツふれあい合同企画

【日時】2013年7月20日(土)

【内容】「海に行くなら？家島でしょ！」

野外カレーライス&焼きそば作り、クリアカヌー体験、ゲーム

【場所】家島(姫路市)

【参加】30名

2) 兵庫県ろうあ者社会生活教室(ドキュメンタリー上映会)

【日時】2014年2月1日(土)

【内容】デフサッカー女子日本代表『アイ・コンタクト』上映会&トークセッション

【場所】西宮市立総合福祉センター 多目的ルーム

【参加】30名

3) 第40回近畿ろうあ者体育大会

【日時】2013年5月11日(土)～12日(日)

【場所】大阪府大阪市

【参加】卓球・バレーボール・テニス・ゲートボール・ボウリング 参加55名

【結果】卓球>男子団体戦2位、男子ダブルス2位、男子シングルス2位

バレーボール>女子 HYOGO 2連覇優勝

女子 KOBEWINGS 3位

男子 播磨デフバレーボーイズ 準優勝

テニス>男女揃ってダブルス戦3位

ゲートボール>団体戦3位:デフ尼崎、9位神戸

ボウリング>個人戦HG賞(女子)

4) 第47回全国ろうあ者体育大会

【日時】2013年9月13日(金)～15日(日)

【場所】富山県富山市

【参加】卓球・陸上・バレーボール・テニス・ボウリング・バドミントン

参加50名

5) 第13回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技近畿予選大会

【日時】2013年5月26日(日)

【場所】滋賀県栗東市民体育館

【参加】兵庫県男子・兵庫県女子・神戸市女子 参加36名

【結果】兵庫県男子・女子の2チームが優勝し、東京国体出場権を獲得。

6) 第13回全国障害者スポーツ大会(スポーツ祭東京2013)

【日時】2013年10月13日(金)～15日(日)

【場所】東京都

【結果】兵庫県女子チーム優勝。男子チームは1回戦敗退。

7) 第43回全国ろうあ者冬季体育大会

【日時】2014年2月14日(金)～16日(日)

【場所】栃木県那須塩原市・ハンターマウンテン塩原スキー場

【結果】記録的大雪&大規模な停電により大会中止。

2013年度 事業経過報告

【兵庫県】

4月14日(日) 第24回スポーツ部総会 (神戸)

7月20日(土) 青年部YR&スポーツふれあい2013合同企画 (家島)

9月1日(日) 第32回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会監督主将会議 (神戸)

9月29日(日) 第32回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会 (神戸)

2014年

2月1日(土) 兵庫県ろうあ者社会生活教室(青年部・スポーツ部合同企画) (西宮)

【近畿】

5月11日(土) 第40回近畿ろうあ者体育大会 (～12日大阪)

5月26日(日) 第13回全国障害者スポーツ大会
聴覚障害者バレーボール競技近畿地区予選大会 (滋賀)

6月2日(日) 第40回近畿ろうあ者体育大会 野球・テニス予備日 (大阪)

2014年

3月30日(日) 2013年度近畿ろうあ連盟体育部全体委員会(午前:和歌山)

3月30日(日) 第41回近畿ろうあ者体育大会監督主将会議(午後:和歌山)

【全国】

9月12日(金) 第47回全国ろうあ者体育大会 (～15日富山)

10月12日（土） 第13回全国障害者スポーツ大会 （～14日東京）

2014年

2月14日（金） 第43回全国ろうあ者冬季体育大会 （～16日栃木）

【世界・その他】

7月26日（金） 第22回夏季デフリンピック （～8月4日ブルガリア）

（5）全国手話検定試験事業

全国手話研修センターが主催する「全国手話検定」の兵庫会場として当協会が準備を進め、試験実施に協力しました。（5級～2級）

5級・4級試験の実施

日 程 平成25年10月19日（土）

会 場 神戸市立総合福祉センター（兵庫会場）

受験者 5級91名、4級58名（合格者 5級87名、4級54名）

3級・2級試験の実施

日 程 平成25年10月20日（日）

会 場 兵庫県立聴覚障害者情報センター（兵庫会場）

受験者 3級51名、2級35名（合格者 3級47名、2級27名）

（6）第9回兵庫県聴覚障害者文化祭

日 時：9月16日（月・祝）10:00～15:00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター、マリーホール、都賀川公園河川敷

参加者：670人

内 容：・ステージ発表（和太鼓、エイサー、日本大道芸、（社福）日本聴導犬協会デモンストレーション、手話劇など）

・展示コーナー（写真、イラスト、手作り手芸品、聴導犬ふれあいコーナーなど）

・バザー出店（物品、特産物など）防災グッズの展示

・飲食コーナー・ミニグルメ横町（ばら寿司、おにぎり、うどん、キャベツ焼き、喫茶など）

・囲碁・将棋コーナー、災害グッズコーナー、聴覚障害者向けIT相談会

・第1回聴覚・視覚・発達障害のための情報福祉機器展

（7）三団体合同2DAY研修会

1. 三団体学習部活動報告

【担当委員】

（兵聴協）志方・中野・水田・木戸・足立 （県サ連）竹中・樋口

(兵通研) 上野・阿部

【担当者会議】19:00～21:00 兵聴協事務所分室

第1回 2013年 7月2日(火)

第2回 2013年 11月12日(火)

第3回 2014年 3月24日(月)

2. 第36回三団体2DAY研修会

参加: 97名

1日目<全体学習会>

日時: 2013年11月23日(土) 13:00～16:00 (受付12:30)

場所: 神戸市立総合福祉センター (湊川神社西門前)

講師: 特別養護老人ホーム 淡路ふくろうの郷

施設長 大矢 暹(おおや すすむ)氏

テーマ 『暮らしと人生に寄り添い 社会に目を向ける』

～淡路ふくろうの郷から～

2日目<分科会>

日時: 2013年11月24日(日) 10:00～16:30 (受付9:30)

場所: 神戸市立総合福祉センター (湊川神社西門前)

【第一分科会】

『入門』～ろうあ運動について～

【第二分科会】

『手話講習会』～地域で手話通訳者を増やす方法は?～

【第三分科会】

『手話通訳制度』～地域の手話通訳制度を見直そう～

【第四分科会】

『聴覚障害者と医療』～聴覚障害者が安心できる医療とは～

【第五分科会】

『手話サークル』～ろう者が行きたくなる手話サークル!?

【第六分科会】

『聴覚障害者と災害』～各地域の聴覚障害者の災害対策の現状と課題～

一日目の『暮らしと人生に寄り添い 社会に目を向ける』では、淡路ふくろうの郷の施設長、大矢氏に講演をしていただきました。意思疎通支援の求める意義について、改めて見つめ直すまたとない機会となった。

二日目は「分科会」として三団体の合同の企画として実施した。各分科会は前年度までのテーマを引き継ぎ、各分科会で積極的な討論がなされた。最後に全体会にて分科会そ

それぞれの報告が行われました。

(8) 第31回兵庫県ろうあ者大会

日 時 平成25年6月2日(日) 午前11時～午後4時

場 所 神戸文化ホール(中ホール)

内 容 ・オープニング 中国龍舞・獅子舞

神戸市立兵庫商業高等学校 龍獅團

- ・第一部 大会式典(主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介など)
議事(会務報告、大会宣言、大会決議、特別決議など)

- ・第二部 記念講演 題名「私の歩んだ道～ I walk my way～」

講師 シリル・アクセルロッド氏(盲ろう者)

イギリス・ロンドン在住、神父(聖職者)

アトラクション 一人芝居

那須英彰氏(NHK 手話ニュースキャスター)

- ・第三部 引き継ぎ式、福引(次回開催地への引継 神戸市から明石市へ)

- ・参加人数 680名

(9) 第40回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい

日 時 平成26年1月12日(日) 午前10時～午後4時

場 所 篠山市四季の森生涯学習センター(篠山市)

内 容 第一部 ・式典(主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介など)

- ・成人祝いのつどい(新成人紹介、励ましのことば、記念品贈呈、成人代表決意)

- ・午年生まれお祝いのつどい(紹介、お祝い、記念品贈呈)

第二部 アトラクション

- ・バルーンアート「BALLOONPALETTE あっきー」

- ・記念講演「世界が広がる自転車ライフ」 講師 早瀬 久美氏

- ・篠山太鼓「鼓篠組」

- ・福引き、フィナーレ(次回開催地への引継 丹波から伊丹へ)

参加人数 530名

(10) 第32回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

日 時 平成25年9月29日(日)

場 所 大倉山野球場(神戸市)

内 容 4チーム(姫路・阪神・神戸・三田&東播) 延べ50名

結 果 優勝: 姫路 2位: 神戸 3位: 三田&東播 4位: 阪神

(11) 幹部養成研修会

日 時 平成26年3月21日(金・祝) 午前9時30分～12時

場 所 神戸市立総合福祉センター

参 加 43名

内 容

『兵庫で手話言語条例を作っていこう!』

研修会で学ぶ3本柱

① 地域の中でいつでもどこでも手話を!

—手話言語法制定にむけて市町村議会へ意見書を提出し、国を動かそう!

—兵庫各地での手話言語条例の制定にむけての取り組み報告について

—意志疎通支援事業における手話通訳派遣の充実化にむけて

② 会員拡大、日聴紙・MIMI 拡大の必要性を共有しよう!

③ 労働問題の様々な差別事例を知ろう!

今回の幹部養成研修会は、『兵庫で手話言語条例を作っていこう!』をモットーにしており、3本柱を元に進められました。鳥取県における手話言語条例の制定の流れを学んだり、県内各地での条例制定にむけた動き、会員拡大や労働差別事例の報告がありました。改めてろうあ運動の中で「手話を言語」と訴えていくことの大切さを再確認した場になった。

【管理部門】

(1) 理事会

- 第 1 回 平成 25 年 5 月 7 日 (土) 神戸市立総合福祉センター
- 第 2 回 平成 25 年 6 月 1 日 (土) 神戸市勤労会館
- 第 3 回 平成 25 年 8 月 10 日 (土) 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- 第 4 回 平成 25 年 10 月 26 日 (土) 兵庫県立聴覚障害者情報センター
- 第 5 回 平成 25 年 12 月 21 日 (土) 神戸市立総合福祉センター
- 第 6 回 平成 26 年 1 月 11 日 (土) 西宮市総合福祉センター
- 第 7 回 平成 26 年 2 月 19 日 (土) 神戸市立総合福祉センター
- 第 8 回 平成 26 年 3 月 29 日 (土) 兵庫県立聴覚障害者情報センター

(2) 総会

【第 2 回総会】

平成 25 年 6 月 1 日 (土) 神戸市勤労会館 大ホール

出席 158 人 委任 419 人

〔議事結果〕		不承認	保留	承認
第 1 号議案	議長選出の件	0 名	0 名	158 名
第 2 号議案	平成 24 年度事業報告の件	0 名	0 名	158 名
第 3 号議案	平成 24 年度決算報告及び 監査報告の件	0 名	1 名	157 名
第 4 号議案	公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会 定款変更に関する件	0 名	0 名	577 名

(委任 419 名含む)

(3) 事務局

・協会の実務全般のとりまとめ

協会が実施する事業（公益事業、独自事業、委託事業など）を推進するにあたって必要な実務作業を行い、事業の円滑化を図ると共に行政・関係機関・団体等との連携及び関係づくりにつとめました。

・公益社団法人移行に関する手続き等

これまでの社団法人（特例民法法人）から平成 24 年 4 月 1 日付けで公益社団法人に移行すると共に、兵庫県文書課公益法人室との連絡・事務作業・法人の運営などを協議し、必要に応じて理事会等に提案を行いました。

【公益法人事務局会議】

メンバー：小林、嶋本、山本紋子、梅澤、吉岡、森

実施日 平成 25 年 5/8、7/19、10/25、12/20、平成 26 年 2/28

【関連団体・各種委員会等への協力および派遣】

(1) 聴覚障害者の医療を考える会

1. 学習会実績

期 日	回	テ ー マ	講 師	参加 人数	会 場
5月23日	第145回	歯周病	大門俊夫 おおかど 歯 科医院院長	23名	あすてっふKOB E セミナー室3
7月7日	第146回	生活習慣 病	谷垣正人 谷垣医院院 長	22名	出前いのち i n 豊岡 アイティ7階 アイホ ールB
9月26日	第147回	80歳で20 本の歯を 残す	大門俊夫 おおかど 歯 科医院院長	23名	あすてっふKOB E セミナー室3
11月28日	第148回	本当に怖 いの？ くびの病 気	前野耕一郎 神戸大学医 学部附属病 院医師	21名	あすてっふKOB E セミナー室3
3月27日	第149回	尿の悩み	原 章二 原泌尿器科 病院 院長 院長	20名	あすてっふKOB E セミナー室3

2. 活動を振り返って

1) 第145回～第149回まで5回開催（1月を除く奇数月の第4木曜日）

1987年にスタートしてから、第149回まで継続出来た事については関係団体と参加者のご協力のおかげと感謝している。また、神戸以外の地域開催“出前いのち”は今年度豊岡地域（2回目）を訪問し11回目となった。地元のろう協、サークル、兵通研地域班の方々には会場の交渉、準備等々全面的に協力を頂き、講演内容も分かりやすく有意義だった。

2) 聴覚障害者のニーズに合ったテーマを選択し継続開催。

第145回「歯周病」：昔は歯槽膿漏（しそうのうろう）と言われていたが、最近では「歯周病」という表現が一般的になっている。歯周病は、サイレントキラー「静かな殺し屋」とも呼ばれている。歯科医師による講義に併せて、歯科衛生士 による 「適切な歯の磨き方について」 具体的に指導を受けた。

今後も聴覚障害者のニーズに合ったテーマや、最新情報を取り入れて学習していきたい。

3) 「健康相談」「血圧チェック・口腔衛生指導」

県ろうあ者大会、聴覚障害者文化祭、ろうあ者新年大会兼成人祝いの集い及び、神戸耳の日記念大会において

「健康に関するブース」を設けた。個人情報保護に配慮する等、実行委員会の協力のもと、医師による健康相談、血圧チェック・口腔衛生指導を実施した。健康コーナーのブー

スでは、血圧値を確認することにより、健康管理意識を高める機会になればよいのではないかと考えている。

3. 今後について

“いのち”を考える会 は、今年度で27年間継続開催の実績となっている。
今後も、3団体（兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県保険医協会・兵庫手話通訳問題研究会）の協力により、企画・運営には兵庫県聴覚障害者協会の積極的な関わりを期待し、より有意義な場になるよう医療班としても取り組んで行きたい。

（2）ろう教育フォーラム in 兵庫

日 時 平成26年2月8日（土）13：00～16：00
場 所 西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館「黒っこプラザ」
参加者 100名
内 容 講演「聴覚に障害のある子どもたちの豊かな放課後活用を！聞こえない子どもたちの社会資源作りについて」～京都聴覚障害児放課後等デイサービスから学ぶ
・報告「聴覚障害者の実態と生活ニーズ調査・子ども調査報告」
・参加型ディスカッション
「みんなで考えよう！兵庫の聞こえない子どもたちの社会資源作り」
※開催予定でしたが、2月8日当日は会場周辺地域だけでなく県下広い範囲が大雪に見舞われ、交通機関の混乱等が発生したため、中止とさせて頂きました。

（3）手話通訳制度化推進委員会

【定例委員会】

毎月第4金曜日 第315回～第325回 19：00～21：00

場所：神戸市総合福祉センター

【構成委員】 計11名

（社）兵庫県聴覚障害者協会（2名） 神戸ろうあ協会（1名）
兵庫手話サークル連絡会（2名） 兵庫手話通訳問題研究会（3名）
神戸市手話サークル連絡会（2名） 兵庫県立神戸聴覚特別支援学校（1名）

【活動内容】

1. 第19回“なるほどザ制度化”学習会開催

日時：平成25年8月10日（土） 13：30～16：30

場所：神戸市立総合福祉センター

内容：意思疎通支援事業について話し合おう！

テーマ：みんなで制度を学びましょう

参加者：28名（ろう者10名・健聴者9名・委員9名）

2. 第20回“なるほどザ制度化”学習会開催

日時：平成26年3月1日（日）13:30～16:30

場所：姫路自治福祉会館

内容：意思疎通支援事業について話し合おう！

テーマ：みんなで制度を学びましょう

参加者：33名（ろう者17名・健聴者8名・委員8名）

3. “手話通訳制度って何？”ろう学校向けパンフレット配布

- ・パンフレット訂正、配布

- ・2月に神戸及び姫路聴覚特別支援学校の高等部3年生を対象とした説明に学校訪問

- ・生徒に制度化委員会作成のDVDを見てもらい、解説説明及び設置通訳者・派遣通訳者の利用について説明する。

4. その他

- ・意思疎通支援事業モデル要綱の内容確認・討議

- ・3団体2day研修会「手話通訳制度」の分科会担当

- ・3委員会合同学習会の開催

- ・手話通訳者設置要綱の見直し

- ・近畿手話通訳問題研究討論集会「手話通訳の制度」の共同研究者派遣 など

【総括】

今年度の活動目標を、①派遣事業実施モデル要綱の検証・②設置事業モデル要綱の見直し③新法や福祉状況の学習・④地域の運動・学習の推進と定め進めてきた。

③設置事業の要綱に関しては、要約筆記事業も設置が兼ねるかなど課題もあり、設置事業のあり方を整理し引き続き取組んでいく。また ④地域の運動・学習の推進では、“なるほどザ制度化”学習会後、独自で制度改善のための会を立ち上げた地域や、設置を目指す地域に委員を派遣するなど協力している。障害者総合支援法の意味疎通支援が地域の制度にどう関わってくるのか、制度の充実を目指し活動していく。

(4) 兵庫県手話通訳頸肩腕障害対策委員会

1. 学習会

①委員会オリエンテーション

三委員会（制度化推進委員会 災害対策委員会 けいわん対策委員会）合同学習会

6月10日（月）19:00～21:00 神戸市立総合福祉センター（第1研修室）

- ・制度化について（講師：嘉田眞典 氏）
- ・災害について（講師：志方 龍氏）
- ・けいわんについて（講師：けいわん対策委員 苗村・波戸・丸山）

参加者 54 名（ろう者 20 名 聴者 34 名）

②けいわん対策委員会学習会 ～みんなで学ぼう！～

10 月 20 日（日）10：00～12：00 兵庫県立のじぎく会館 1 階 ふれあいルーム
テーマ 「アロマで元気になろう!!」

講 師 岐阜ろう者劇団「いぶき」代表 河合依子 氏

参加者 40 名（ろう者 19 名 聴者 21 名）

2. 講師派遣

1) けいわんについてのオルグ活動

6 月 26 日（水）手話サークル マジック（猪名川） 参集 38 名（ろう者 2 名）

11 月 18 日（月）手話サークルクローバー（川西） 参集 28 名（ろう者 4 名）

3. 「けいわんニュース」毎月定期発行

- 1) けいわんに関する行事や学習会のお知らせや報告、また紙面でのけいわん活動啓発。
- 2) 「s t o p・ザ・けいわん」パート2 他、冊子の普及

4. 2013 年度 職場アンケートの実施と結果活用

- 1) 実施期間 2013 年 9 月 16 日～11 月 30 日（2013 年度）
- 2) 対象者 兵庫県聴覚障害者協会および各ろうあ協会・関係団体職員
- 3) 配布団体 18 団体 146 名。 2 月末現在 15 団体 125 名の回答を得られた。集計後、鋭意データーをまとめて各団体に送るよう努めている。

5. 兵庫県立聴覚障害者情報センター主催 けいわん検診及び結果報告学習会への協力

1) 検診会場受付と案内

①神戸会場 兵庫県立聴覚障害者情報センター

・ 8 月 20 日（火）9 時 30 分～16 時 受診 31 名

・ 8 月 27 日（火）9 時 30 分～16 時 受診 33 名

②西宮会場 西宮市総合福祉センター

・ 8 月 29 日（木）9 時 30 分～12 時 受診 18 名

③高砂会場

・ 10 月 10 日（木）14 時 30 分～16 時 受診 31 名

2) 受診者へのアンケート実施

3) けいわん検診結果報告・学習会の参加呼びかけ

12 月 22 日（日） 兵庫県立聴覚障害者情報センター

【総括と課題】

オリエンテーションの三委員会合同学習会は、初の試みだったが、各委員会の取り組みや課題などを知るための良い機会として開催出来、有意義な学習会となった。今後も定着

した学習会として継続できれば、と考える。けいわん学習会の「アロマで元気になろう!!」はアロマによるハンドマッサージを体験しながら、心も体もリフレッシュし、楽しみながら自分の健康チェックをする、という体験型の学習会だった。参加者から好評を得たので、次年度も引き続き企画実施を考えている。課題としては、職場アンケートについて、今後結果の活用について検討していく必要があると考えている。

【対策委員会メンバー】

(兵聴協) 村上佳史・仲井正・岩本吉正 (協力員) 岩林恵子・鈴木奈麻美
(兵通研) 丸山よい・中村千鶴子・切塚令子
(県サ連) 波戸雅幸・苗村裕美・波々伯部早百利

(5) 災害対策委員会

【定例委員会】 毎月第2月曜日 19:30~21:00

於：神戸市立総合福祉センター

4/8 5/13 6/11 7/8 8/12 9/9 11/11 1/20 2/10 3/10

【構成委員】(兵聴協) 嘉田、志方 (県サ連) 早柏、吉村 (兵通研) 森、鞍富

【検討事項】

1. 災害対策委員会の活動内容について
2. 三団体合同2DAY研修会『聴覚障害者と災害』の分科会の内容について
3. 兵庫県合同防災訓練について
4. 『ろうあ兵庫』掲載内容について

【活動内容】

1. オリエンテーション (6/10)

制度化委員会／けいわん対策委員会／災害対策委員会

2. オルグ (6/30) 明石ろうあ協会 嘉田

3. 兵庫県合同防災訓練 (9/1) 於：姫路市

・兵庫県障害者支援課、兵庫県立聴覚障害者情報センター、とともに参加
地域より参加 姫路ろうあ協会16名、姫路市難聴者協会10名

4. 「防災学習会」 (9/22) 於：神戸市危機管理センター

講演「自分でできる防災対策」／防災ゲーム「なまずの学校」

参加者 24名(ろう者10名・盲ろう者1名・健聴者13名)

5. 「三団体合同2DAY研修会」 (9/30) 於：神戸市立総合福祉センター

分科会「聴覚障害と災害～聴覚障害者の災害対策について～」

「やさしい防災・減災」講演、防災かるた／地域の取り組み報告

参加者 8名(ろう者3名・健聴者5名)

6. 「聴覚障害者の防災・減災について学ぼう！」 (1/17) 於：ピフレホール

主催 神戸ろうあ協会 上映会 「架け橋 きこえなかった3. 11」

防災手話講座（災害対策委員会）を実施

【啓発事業】

- ・ろうあ兵庫に『災害対策委員会ニュース』を掲載
- ・聴覚障害者文化祭（10/13）にて、防災に関する避難グッズ／書籍類展示。
- ・聴障ネット学習会等で「ひょうご防災ネット」登録へのよびかけ。

【総括】

◆緊急時の情報保障・伝達方法等、支援体制の確立にむけた取り組みを引き続き行う。

（6）手話研究プロジェクト

会議日：4/22、3/3

構成委員：今泉、末吉、井上、福島、村上、辻井、山本

今年度は阪神ブロックと丹有ブロック中心に収録作業を行う目標にしていたが、後半より行事が重なり日程調整ができなくなってしまった。次年度は、収録作業にこだわらず、ろうあ兵庫に手話コラムを掲載するなど、会員のみなさまや読者に手話研究に関する関心を高めるよう取り組んでいきます。

（7）手話講義編集委員会

会議日：5/15、6/19、7/17

構成委員：（兵聴協）岩林、迫田、遠藤、井上、山本（認通）竹中、山下

会議は思う存分開けなかったが、各自が担当するテーマを各自でたたき台として仕上げるよう進めた。新テキストが発売されたことから編集委員会で仕上げたものと照らし合わせ、兵庫ならではのオリジナルテキストとなるよう、仕上げたい。

（8）代表者の派遣

1. 聴覚障害者センター支援委員会

【定例会議】 第2水曜日 18時30分～21時（9月1月を除く10回開催）

於：県立聴覚障害者情報センター会議室

【取り組み報告】

- ・センター事業についての意見交換
- ・要望書作成（兵庫県障害者支援課に提出 25年8月28日）
- ・情報センターの活用についての意見交換
- ・センター支援委員会のあり方の検討

【構成委員】

【兵聴協】本郷・守谷【県難聴】中嶋・藤田【盲ろう者友の会】今川

【神戸ろう協】薄井【神戸市難聴】片岡【兵通研】池上・森口

【県サ連】星・上田【県要連】吉田・藤原【神戸市サ連】能宗・豊島

【要約筆記こうべ】波来谷 オブザーバー：嘉田(情報センター)

2. 聴覚障害者制度改革推進兵庫本部

会議日：5/20、6/24、8/20、10/4、11/12、12/9、1/17、3/4

構成委員：【兵聴協】岩林・嶋本 【兵通研】谷口・平松

【県サ連】平塚・苗村 【県難聴協】宇佐川

【市難聴協】田中 【盲ろう者友の会】今川【県要連】山本

学習会：11月30日(土) 兵庫障害者連絡協議会と共催

会場：神戸市勤労会館

講演「障害者差別解消法について」講師：藤原精吾弁護士

参加者：127名

(9) ひょうご聴障ネット

<ひょうご聴障ネットの目的>

兵庫県下の聴覚障害者関連福祉事業への支援を行うとともに、聴覚障害者福祉の向上と聴覚障害者に対する社会的啓発に努める。聴覚障害者関連福祉事業の安定した運営を図るには具体的な支援の取り組みが必要になるため、「聴覚障害者の『完全参加と平等』の実現をめざす会」と「ひょうご高齢聴覚障害者施設建設委員会」の活動をひきつぐ団体として設立された。

<2013年度の活動>

(主催事業・行事)

○総会・講演会（山崎玲輔氏）・聴覚障害者の社会参加を守るためのアピールパレード
5月12日(日)

○夏の学習会「障害と自己責任 ～“理解”の輪を広げよう～」湯浅誠氏 8月11日(日)

○兵庫県聴覚障害者文化祭 9月16日(月・祝) (情報福祉機器展と同時開催)

○情報福祉機器展 9月16日(月・祝) (兵庫県聴覚障害者文化祭と同時開催)

○手話カフェ 毎月第3水曜日、神戸市灘区水道橋筋商店街「café P/S」にて営業

○年4回「ひょうご聴障ネットニュース」発行

○各地域へのオルグ活動

○役員会 毎月第3木曜日

○事務局会議 毎月第2、4木曜日

○2014年ふくろうカレンダーの作成、販売

(協力事業・行事)

○「私たち抜きに私たちのことを決めないで！第1回学習会」4月13日(土)

○(社福)滋賀県聴覚障害者協会後援会より講演依頼 5月26日(日)担当：志方

○第21回障害者の明日を語り合うつどい 7月28日(日)

- 9.1 ストップ・ザ応益負担兵庫の会・兵庫県福祉4団体共同学習会 9月1日(日)
- 兵庫県議会訪問 9月24日(火) 兵聴協・県難聴・盲ろう者友の会と共に各会派を訪問
- 第8回ふくろうふれ愛まつり 10月27日(日)
- 「ストップ・ザ応益負担兵庫の会」「ひょうご家族ねっと中央研修会」共同学習会
11月20日(水)
- 神戸のじぎくライオンズクラブ主催「聴覚障害者のための青少年育成講演会」
(2013年12月22日(日))のPR協力
- 「災害と障害者のつどい」 2014年2月1日(土)
- 神戸ティアライオンズクラブ主催 聴覚障害者社会参加支援事業「経理に強くなる！社会スキルを磨こう」(2014年3月17日(月)、3月24日(月))のPR協力

＜支援先＞

社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会 おのころの家
 特定非営利活動法人兵庫盲ろう者友の会
 ひょうご聴覚障害者介護支援センター

＜会員＞

- 2014年3月31日現在 会員数 506人・91団体
 (内訳：マンスリー/97、個人/395、特別/14 団体/91)

＜兵聴協との関わり＞

- 兵聴協から代表委員1名・役員3名・事務局次長1名を派遣。その他学習会、オルグの要員、カレンダー販売などで協力。
- 「ろうあ兵庫」で毎月ひょうご聴障ネットの活動を会員に報告、PRを行った。

(10) 手話通訳者の団体との連携

兵庫県手話サークル連絡会、兵庫手話通訳問題研究会と当協会との連携を密にするため、次のとおり連絡会議、研修会を開催。

1. 四団体トップ会議

手話関連団体及び社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会と共に兵庫のあらゆる課題、問題等や今後の取組等を中心に兵庫における聴覚障害者の社会参加を発展を目指していく。

メンバー：兵聴協、県サ連、兵通研、社福各団体の3役

場 所：兵聴協事務所分室

実施日：4/24、5/23、6/7、7/9、8/19、9/24、10/30、12/2、1/29、3/4

2. 三団体合同会議

県サ連と兵通研と共に役員の顔合わせをしながら各団体の取り組みや委員会の取

り組みなどの意見交換を行った。

場 所：神戸市立総合福祉センター

実施日：平成25年6月10日(月)

(11) 各種大会、研修会への協力および派遣

1. 県内の各種身体障害者に関する大会への協力

- ・兵庫県くすの木学級運営委員会への協力（兵庫県教育委員会） 年2回（神戸）

2. 近畿及び全国ろうあ者大会への協力と代表派遣

- ・第61回全国ろうあ者大会（山形）平成25年6月13日～16日
- ・第40回近畿ろうあ者体育大会（大阪）平成25年5月11日～12日【木戸めぐみ】
- ・第63回近畿ろうあ者大会（京都）平成25年10月6日
- ・第46回全国手話通訳問題研究集会（岐阜）平成25年8月23～25日
- ・第30回全国手話通訳問題研究討論集会（大阪）平成25年2月15日～16日
- ・第30回近畿手話通訳問題研究討論集会（奈良）平成25年12月14日～15日
【嘉田眞典・岩林恵子・岩本吉正・村上佳史（共同研究者）】
- ・第47回全国ろうあ者体育大会（栃木） 大雪中止
- ・第25回ろう教育を考える全国討論集会（長崎）平成25年8月17日～18日
【木村昌範】
- ・第3回近畿ろうあ高齢者大会&スポーツ大会(奈良)平成25年8月24日～25日
- ・第23回近畿ろう教育フォーラム（京都）平成26年2月22日【木村昌範】
- ・第19回近畿けいわんフォーラム（京都）平成25年11月3日【山本紋子】
- ・第24回近畿手話サークルフォーラム（兵庫）平成26年3月23日
- ・2013年度近畿ろうあ者福祉・労働問題フォーラム（和歌山）平成25年8月4日
【岩本吉正】
- ・第28回近畿ろうあ者将棋大会（奈良）平成25年7月28日【嘉田眞典】
- ・2013年度近畿ろうあ連盟 幹部研修会（奈良）平成26年1月25日～26日
- ・第18回全国職業安定所手話協力員等研修会兼ろうあ者労働問題フォーラム（神戸）
平成26年1月24日～25日【岩本吉正】

3. 全日本ろうあ連盟、近畿ろうあ連盟の役員会などへの代表派遣

- ・第1回（通算第64回）一般財団法人全日本ろうあ連盟評議員会（山形）
【小林泉、嶋本恭規、嘉田眞典、志方龍、山本紋子、木村昌範、木戸めぐみ】
- ・2013年度全国情報・コミュニケーション担当者会議（大阪）
平成26年2月14日～15日 【山本紋子・嘉田眞典・木村昌範】
- ・近畿ろうあ連盟評議員会（奈良）平成26年1月26日

- 【小林泉、嶋本恭規、嘉田眞典、木村昌範、志方龍、山本紋子、木戸めぐみ】
- ・第1回近畿ろうあ連盟代表者協議会（大阪）平成25年4月29日
【本郷、小林、嶋本、嘉田、志方】
 - ・第2回近畿ろうあ連盟代表者協議会（奈良）平成26年1月25日
【本郷、嶋本、山本紋子、嘉田、志方】
 - ・2013年度近畿地区専従職員研修会（兵庫）平成25年12月5日～6日
【小林、嶋本、山本紋子、嘉田】
 - ・第1回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）平成25年5月11日
【山本紋子】
 - ・第2回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）平成25年7月20日
【山本紋子】
 - ・第3回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（京都）平成25年11月3日
【山本紋子】
 - ・第4回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（兵庫）
平成25年3月23日【山本紋子】

(12) 聴覚障害者関連施設部会事務局会議及び全体集会

県内の聴覚障害者作業所関係者が集い、それぞれの作業所の現状や情報交換や意見交換を行いました。

2013年度は、作業所通所者同士の交流として「作業所ふれあいクリスマス2013」を開催し、職員、利用者、保護者ら81名の参加者がありました。

1. 事務局会議・全体会

日程	場所	参加作業所名
事務局会議		
25.11/29(金)	三ノ宮：デリカフェ	橋詰、岩本、城野
全体会		
25.4/25(木)	神戸市立総合福祉センター	たじま、はりま、たつのこ、神戸、おのころ
25.10/3(木)	神戸市立総合福祉センター	たじま、はりま、たつのこ、神戸、おのころ

2. 作業所なかまふれあいクリスマス2013

日 程：平成25年12月11日（水）

場 所：県立聴覚障害者情報センター

参加作業所：たつのこ、神戸、おのころ、はりま

【参考資料】

(1) 兵庫のろう教育を語り合う会

【定例会議】 毎月第3水曜日 19:00～20:30 神戸市立総合福祉センター

◎平成25年度の主な活動◎

1. 第17回ろう教育学習会＜兵庫県ろうあ者社会生活教室＞

日時 2013年8月3日(土) 14:00～16:30 参加者 75名
場所 神戸市立総合福祉センター 第1・2研修室
内容 講演「聴覚障害教育の現状と展望・課題」
講師 田邊ひろみ 先生
(元兵庫県立こばと聾学校長/兵庫県立特別支援教育センター相談員
兵庫県立特別支援教育振興会副会長)

講師は長年学校現場で聴覚障害教育に携わってこられた方で、多くの実践と広い視野に基づいたわかり易いお話でした。人工内耳を付けたら「聞こえる」と思ってしまいがちだが不便を感じることは同じ。周囲の支援は必要であり医療や福祉、教育の連携が進むことが重要だと話されました。また手話は意思疎通のためだけでなく学力や自己表現力を伸ばすことにつながることも大切である等、聞こえない子どもの教育の目的は何なのか改めて考える機会になりました。保護者、聴覚障害者、教員の方の参加もあり次のような感想がありました。
・学力をつけるだけでなく周りとのコミュニケーションをとる力を育てることが大切と思った。
・昔と今の教育状況の変遷がよく分かった。・資料がわかり易かった。・子どもの進路の可能性がいろいろあることが分かった。

2. 第16回ろう教育フォーラム in 兵庫

※下記の内容で開催予定でしたが、2月8日当日は会場周辺地域だけでなく県下広い範囲が大雪に見舞われ、交通機関の混乱等が発生したため、中止とさせて頂きました。

日時 2014年2月8日(土) 13:00～16:00

場所 西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館「黒っこプラザ」大ホール

内容 ・講演「聴覚に障害のある子どもたちの豊かな放課後活動の場を！聞こえない子どもたちの社会資源作りについて」～京都聴覚障害児放課後等デイサービスから学ぶ～

講師 加藤 桂子氏 (京都市聴覚言語障害センター・京都聴覚障害児放課後等デイサービス「にじ」)

・報告「聴覚障害者の実態と生活ニーズ調査・子ども調査報告」

・参加型ディスカッション

「みんなで考えよう！兵庫の聞こえない子どもたちの社会資源作り」

3. 機関紙掲載

「ろうあ兵庫」「ひょう通研ニュース」「県サ連だより」に活動内容や報告、ろう教育に関する情報などを掲載。

＜県下、県外でのその他の活動＞

(1) 県下各聴覚特別支援学校に入学式祝辞を送付。(平成25年4月)

神戸聴覚特別支援学校入学式に出席(本郷理事長、木村理事)。

(2) 第25回ろう教育を考える全国討論集会 in 長崎(平成25年8月17日～18日)に、3名参加。

(3) 第23回ろう教育近畿フォーラム京都集会(平成26年2月22日)に、2名参加。

(4) 県下各聴覚特別支援学校に卒業式祝辞を送付。(平成26年2～3月)

神戸聴覚特別支援学校卒業式に出席(木村理事)。

こばと聴覚特別支援学校卒業式に出席(木村理事、岩本理事)

＜今後の方針＞

1. 「第18回ろう教育学習会」(夏)、「第24回ろう教育近畿フォーラム in 兵庫」への取り組み
2. 聴覚障害児を持つ保護者や教員との交流や情報提供、ネットワーク作り(相談、訪問、交流等)
3. 聴覚障害のある教員の増員及び情報保障
4. 県下聴覚特別支援学校や行政関係(県・市教育委員会)との連携

＜総括＞

聞こえない子どもたちの社会資源の確保が話題になっている現状に私たちは今後、県内でどのように動いていくか？検討の必要性を感じました。今後の課題として取り組む必要があります。又、手話言語条例などの動きと教育の関わりを知り、活かしていくべきと思います。

(2) 各協会手話対策部会議

開催日：4/8、7/2、8/31、10/7、12/2、2/3

開催場所：神戸市立総合福祉センター

(3) 2013年度組織部活動報告

2013年度の組織部活動においては、会員拡大・日聴紙・MIMI読者拡大の呼びかけ、行事日程調整委員会の開催、幹部養成研修会の開催、他団体チャリティイベント参加呼びかけ、手話研修センター後援会呼びかけを中心に行いました。また、兵聴協・県サ連・兵通研の三団体での合同学習会である、三団体2DAY研修会の準備・会場設営・講師打診なども実施しました。

その他、県内における組織強化、地域活動支援の一環として、地域協会へのオルグ活動・相談支援など地域のろうあ者支援に寄り添った活動も行っていました。

今後とも、聴覚障害者福祉の向上のため、地域の組織強化を重点的にふまえて継続的に活動してまいります。

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
		2013/5/7	2013/6/1	2013/8/10	2013/10/26	2013/12/21	2014/1/11	2014/2/19	2014/3/2
理事長	本郷 善通	出	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	小林 泉	出	出	出	出	出	出	出	出
	守谷 嘉之	出	出	出	出	出	出	出	出
理 事	嶋本 恭規	出	出	出	出	出	出	出	出
	嘉田 眞典	出	出	出	出	出	出	出	出
	山本 健良	出	出	出	出	出	出	出	出
	志方 龍	出	出	出	出	出	出	出	出
	仲井 正	出	出	出	出	出	出	出	出
	木村 昌範	出	出	出	出	出	出	出	出
	橋詰 一則	出	出	出	欠	出	出	出	欠
	岩本 吉正	出	欠	出	出	出	出	出	出
	山本 紋子	出	出	出	出	出	出	出	出
	古 隆喜	出	出	出	出	出	出	出	出
	村上 佳史	出	出	欠	出	出	出	出	出
	足立 達哉	出	出	出	欠	出	出	欠	出
	水田 俊子	出	出	出	出	出	出	出	欠
	中野 貞子	出	出	出	出	出	欠	出	出
	木戸めぐみ	出	出	欠	出	出	出	出	出

監 事	吉野 浩	出	出	出	出	出	出	出	出
	山田 繁和	出	出	出	出	出	出	出	欠
	井谷 亮	出	出	出	出	出	出	欠	出